

取扱説明書

フルオート（全自動）

昼間沸上げ形

家庭用ヒートポンプ給湯機



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご紹介します。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.4～6)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、スマホでおふるスタートガイド、工事説明書とともに大切に保管してください。
- システム品番は、貯湯ユニットとヒートポンプユニットのセット品番です。各ユニットの品番は本体のネームプレート(P.11)と本書の「仕様」(P.58～59)でご確認ください。

※「おひさまエコキュート」の名称は、昼間沸上げ形家庭用ヒートポンプ給湯機を総称する愛称として取り扱っています。「おひさまエコキュート」は、関西電力株式会社の登録商標です。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします
詳しくは裏表紙をご覧ください

おひさまエコキュート

「おひさまエコキュート」^{*}に適用する電力契約で
ご使用ください。

システム品番

一般地向け

■ウルトラ高圧力型

●屋外用

HE-YU37LQV HE-YU46LQV

■高圧力型

●屋外用

HE-Y37LQV HE-Y46LQV

寒冷地向け

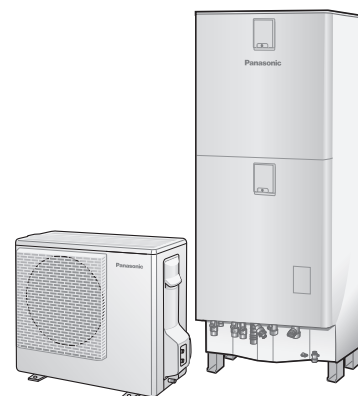
■高圧力型

●屋外用

HE-YL37LQV HE-YL46LQV

●屋内用

HE-YL37LQMV HE-YL46LQMV



機種により形状が異なります。

保証書・工事説明書 別添付



この給湯機は、大気熱を利用し、太陽光発電の電力を使用する時間帯にお湯を沸かします

「おひさまエコキュート」に適用した電力契約でご使用ください。

- 電力契約を誤ると思わぬ電気料金がかかる場合がありますので、ご使用前に必ず電力会社にご確認ください。
- 太陽光発電システムで発電した電力をお湯の沸き上げに有効に利用するため、台所リモコンを使って昼間の沸き上げ時間帯を1時間単位で設定することができます。(P.26)

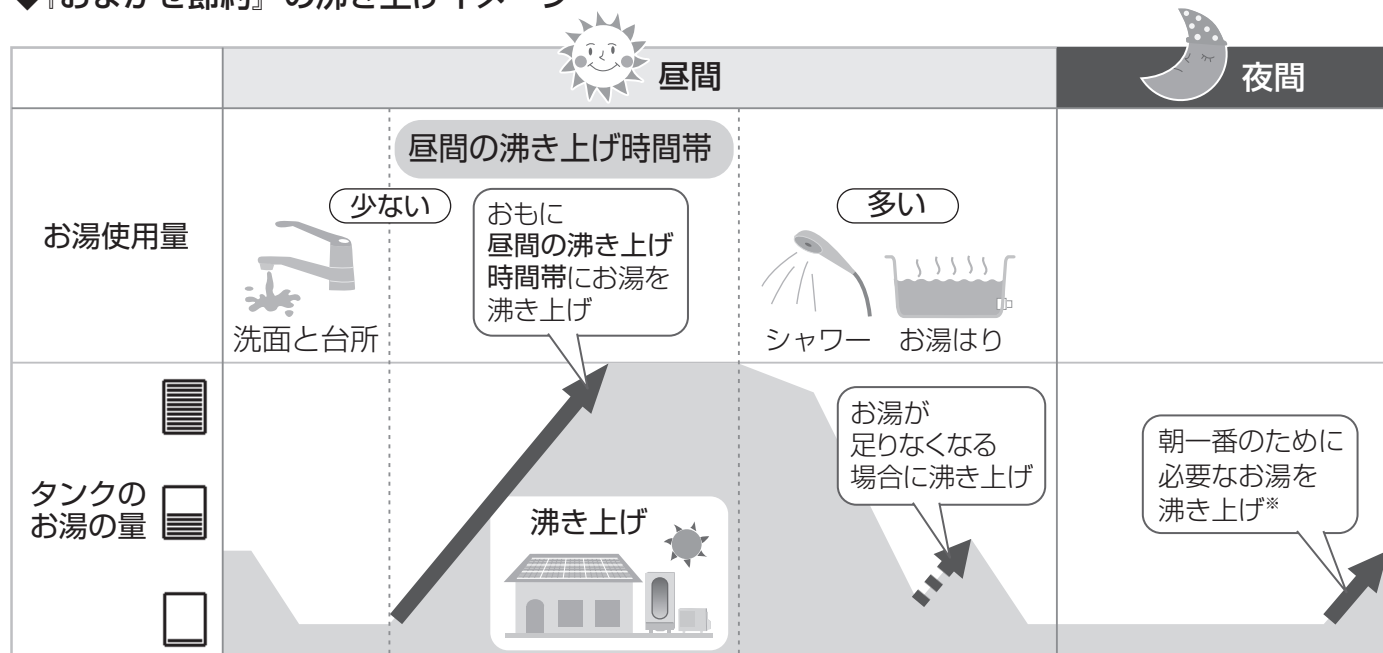


沸き上げモードは「おまかせ節約」と「おまかせ」の2通りあります(P.25) まずは『おまかせ節約』でお使いください。

昼間時間帯に沸かすのが基本		+	足りないときは夜間時間帯も沸かす
おまかせ節約 お買い上げ時の設定	省エネ推奨モードです (1日に使うお湯をおもに昼間に沸かします) ●実際に使ったお湯の量を学習し、各家庭に合わせて最適な量を自動で沸かします。 ●来客などで急にお湯をたくさん使う場合は、早めに「沸き増し」(P.24)を押してください。	+	●翌朝に使うお湯は必ず一定量を確保します。 (午後11時から午前6時までに少しだけ沸かします) ●夕方以降に使うお湯が足りないと予測したとき、午後5時から午後11時までに沸かす場合があります。 ●お湯がなくなりそうになったとき、いつでも沸かします。
	おまかせ ●「おまかせ節約」ではお湯が足りない場合実際に使ったお湯の量を学習し、「おまかせ節約」より多めに、自動で沸かします。		●1日に使うお湯が足りないと予測したとき。 ●お湯を一番使う時間帯に足りないと予測したとき。 ●お湯がなくなりそうになったとき。

- 「おまかせ」でもお湯が足りない場合は、早めに手動でタンクのお湯を「沸き増し」することをおすすめします。(P.24)

◆『おまかせ節約』の沸き上げイメージ



- 沸き上げを示す矢印の長さや時間帯は、季節や各家庭の使用湯量によって変わります。

※ 朝一番にお湯はり等お湯をたくさん使う場合は、早め(前日)に手動で「沸き増し」してください。(P.24)
 「■お湯の使用量の目安」に合わせて設定すると、その湯量を沸き増します。

Q お問い合わせの多い A 項目を探しやすく しました



設定した時間帯以外に
沸かすのはなぜ？ ▶ 2 ページ

残湯量の表示が
使っていないのに減る ▶ 51 ページ

使用可能湯量の表示が
前日と異なる ▶ 51 ページ

無線LANに接続したい
アプリで給湯機を操作したい ▶ **別冊子**
スマホでおふる
スタートガイド

ふろ湯量を
少なめに設定できない ▶ 17 ページ

お湯が ぬるい ▶ 15 ページ
足りない ▶ 24 ページ

追いだきで
お湯が熱くならない、時間がかかる ▶ 49 ページ

シャワーの
勢いが弱い ▶ 48 ページ

冬場に凍結して
お湯が出ない ▶ 46、47 ページ

浴そうに水やお湯が
勝手に出てくる ▶ 38 ページ

浴そうなどに
青い色がつく ▶ 10 ページ

しばらく使わないときはどうすればよい？
給湯機を使わないとき ▶ 42、43 ページ

シャワーだけを使用し、浴そうには
お湯はりをしていないとき ▶ 62 ページ

確認と準備

安全上のご注意	4
使用上のお願い	7
各部の名前と働き	11

使いかた

お湯を使う(給湯)	14
お湯をはる	16
予約してお湯をはる	19
追いだきする	20
お湯や水を足す	21
通話する	22
浴室の様子を聞く	23
沸き増しする	24
沸き上げモードを変える	25
昼のみ沸き上げ設定をする	25
昼間の沸き上げ時間帯を設定する	26
アプリで日射量シフトを設定する	27
設定を変える	28
「給湯ガイド」を見る	36

お手入れと点検

お手入れする	38
点検する	40

必要なとき

一定期間使わないとき (沸き上げ休止・水抜き)	42
タンクのお湯(水)を抜いたとき	44
断水したとき	45
停電したとき	46
凍結のおそれがあるとき	46
故障かな？	48
浴そうの水位(湯はり量)を再調整する	55
リモコンにこんな表示が出たら…	56
仕様	58
メニュー画面項目一覧表	60
一定期間 浴そうにお湯はりしないとき	62
保証とアフターサービス	63
ご相談窓口	裏表紙

専用アプリの最新情報をご
覧いただけます。



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容(禁止事項)です。



実行しなければならない内容(強制事項)です。



やけどや感電などを防ぐために



警告

据え付け後の確認



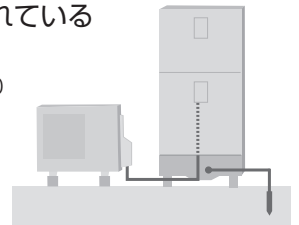
禁止

- 近くにガス類の容器や引火物を置かない
(電気部品のスパークにより引火し、発火の原因になります)



アース線接続

- アース工事がされていることを確認する
(感電の原因になります)
お買い上げの販売店にご確認ください。



取り扱い時



禁止

- 熱湯や熱くなる部分に触れない
(やけどの原因になります)
 - ・給湯時は、給湯栓本体に触れない。
- 使い始めは、しばらくお湯に触れない
(空気の混じった熱いお湯が飛び散ることがあるため、やけどの原因になります)
特に朝の使い始めは、ご注意ください。
- 入浴時には次のことをしない
 - ・循環口は、手足やタオルでふさいだり、体を近づけたりしない。
(熱いお湯が出る可能性があるため、やけどの原因になります)
特に高温たし湯のときは、ご注意ください。
 - ・循環口のフィルターがゆるんだりはずれたりしたまま入浴しない。
(髪の毛が吸い込まれ、事故の原因になります)
特にお子さまには、ご注意ください。



必ず守る

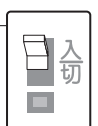
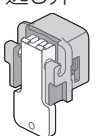
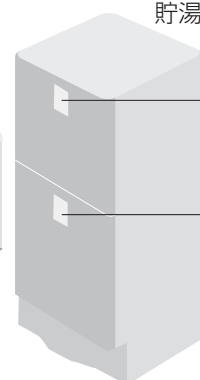
- お湯を使うときは、お湯の温度を確認する
(やけどの原因になります)
 - ・入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確かめる。
 - ・給湯温度を変えるときは、他の人がお湯を使っていないことを確かめる。
- 停電中および停電復旧後にお湯を使うときは、湯温を確かめる
(湯温調節ができず、高温のお湯が出る可能性があるため、やけどの原因になります)
- 次のような方がお湯を使うとき、入浴されるときは、まわりの方がこまめに注意してあげることが必要です
(やけどや思わぬ事故の原因になります)
 - ・乳幼児、身体の不自由な方、高齢者、病人など、ご自身では危険回避のできない方
 - ・皮膚の弱い方
 - ・疲労の激しい方、お酒や睡眠薬を飲まれた方



ヒートポンプユニット

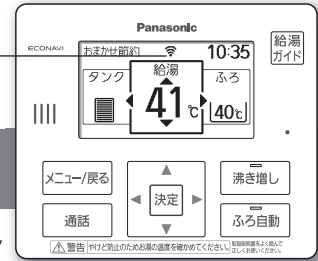
貯湯ユニット

逃し弁



漏電しゃ断器

無線LAN表示



台所リモコン

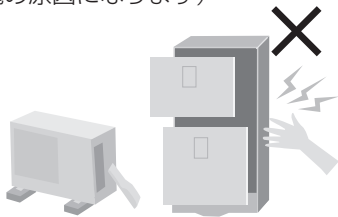
警告

点検・異常時



禁止

- 絶対に、分解や修理・改造・移設をしない
(感電や火災の原因になります)
修理・移設はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 熱湯や熱くなる部分に触れない
(やけどの原因になります)
 - ・貯湯ユニットの排水時や逃し弁の点検時は、排水配管や排水口、逃し弁(レバー以外)に触れない。(P.39, 41)
 - ・ヒートポンプユニット配管や給湯配管(P.11)には触れない。
 - ・逃し弁の点検時やヒートポンプユニットの水抜き時、非常用取水栓の使用時は、お湯に触れない。(P.41, 43, 45)
- 漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない
(感電の原因になります)
- 貯湯ユニットの前板やヒートポンプユニットのカバーを開けない
(感電の原因になります)



必ず守る

- 漏電しゃ断器は、作動することを定期的に確認する(P.40)
(感電の原因になります)
作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。
 - 異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を「切」にする
(発煙・発火、感電、やけどのおそれがあります)
- 異常・故障例**
- ・漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
 - ・使用中に、こげ臭いにおいがしたり異常な音や振動音がする。
 - ・熱いお湯が出続ける。
- すぐに、お買い上げの販売店へ点検・修理を依頼してください。
- 冷媒系統の据え付け・移設・修理完了時には、販売店や専門業者に次のことを確認する
 - ・指定冷媒を使用していること。
(指定以外の冷媒を使用すると機器の故障や破裂、けがなどの原因になります)

漏電しゃ断器

台所リモコンに無線LAN表示点灯中



禁止

- 台所リモコンに医療機器や自動制御機器(自動ドア、火災警報器など)を近づけない
(台所リモコンからの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)



必ず守る

- 心臓ペースメーカーを装着している方は、装着部を台所リモコンから15 cm以上離す
(台所リモコンからの電波による誤作動の原因)

アプリ使用时

宅外からの操作時は、他の人のお風呂(浴室の浴そう)や給湯(シャワーや給湯栓)の使用状況を確認することができません。また、無線通信を利用するため通信環境や使用状況、ネットワーク障害などにより、遠隔操作がご利用できない場合があります。場合によっては、人などが死亡・重傷を負ったり、財産の損害が発生したりするおそれがあります。事前に安全を十分確認してお使いください。



必ず守る

事前(在宅中)に以下の内容を確認しておく

- 他の人の浴室の浴そうや給湯の使用状況、リモコンの温度設定や予約状況
(思わぬお湯の温度変化により体調をくずす原因)
- リモコン、貯湯ユニット、ヒートポンプユニットに異常がないこと。浴室の浴そうや他の人が触れるおそれのあるお湯によって悪影響がでないこと
(思わぬお湯の温度変化により体調をくずす原因)
- 遠隔操作ができなくても、人や財産などに悪影響がでないこと
(リモコンの設定、お湯の温度の影響で体調をくずす原因)
 - ・操作が必要な場合は、宅内のリモコンで操作してください。
 - ・乳幼児や身体の不自由な方・高齢者などで自身でリモコン操作ができない方のみで在宅している場合は、ご利用にならないでください。

宅外からの操作前・操作中に以下の内容を確認する

- 人がいることが分かっているときは、宅外からリモコンの設定などを変更することを知らせておく
(思わぬお湯の温度変化により体調をくずす原因)
- こまめに設定内容や運転状況を確認する
(思わぬお湯の温度変化により体調をくずす原因)
 - ・操作後、リモコン、貯湯ユニット、ヒートポンプユニットの設定に反映されていなかった場合は、宅内のリモコンで操作してください。
 - ・エラーコードが表示されたときは、操作を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください



けがや水漏れなどを防ぐために

⚠ 注意

据え付け後の確認



必ず守る

- 据え付け後は、次のことを確認する
 - ・ 貯湯ユニットの脚部が床面に固定されていること。(転倒によるけがの原因になります)
 - ・ 貯湯ユニットが、防水処理・排水処理済みの床面に設置されていること。(水漏れすると、階下などに被害を及ぼす原因になります)
 - ・ 配管が凍結予防工事済みであること。(冬場など、凍って破損し、やけどや水漏れの原因になります)
- 不備のある場合は、お買い上げの販売店にご確認・ご依頼ください。

取り扱い時



禁止

- 配管に無理な力を加えない
(破損によるやけどや水漏れの原因になります)
- ヒートポンプユニットのアルミ部分に触れない
(手を切る原因になります)
- ヒートポンプユニットの据付台が破損したまま放置しない
(落下や転倒による、けがの原因になります)
- 水洗いはしない
(漏電による火災や感電の原因になります)
- 凍結のおそれがあるときは漏電しゃ断器を切らない
(配管などが凍結して破損することがあるため、水漏れの原因になります)
漏電しゃ断器を切るときは、水抜きをしてください。(P.42、43)
- そのまま飲用しない
長期間のご使用によって貯湯ユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、沸騰させてからにしてください。
 - ・ 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
 - ・ 熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。



必ず守る

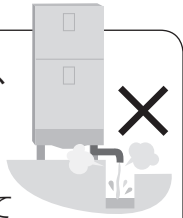
- 長期間使わないときは、貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水を抜く(P.42、43)
(水質変化により、飲用すると健康を害するおそれがあります)

点検・異常時



禁止

- 貯湯ユニットの水抜き時は、熱湯を直接排水しない
(やけどや排水配管の破損の原因になります)
給湯栓よりお湯を出しきってから排水してください。(P.43)



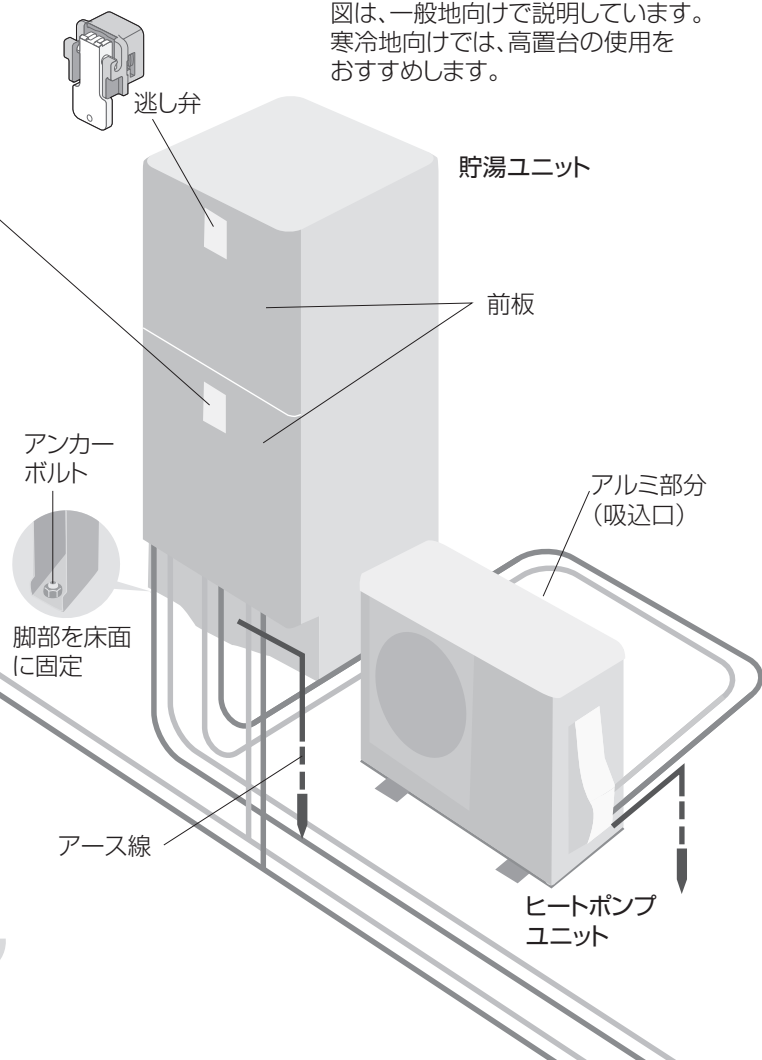
必ず守る

- お手入れ時や点検時は、次のことをする
 - ・ 漏電しゃ断器を「切」にする。
(ヒートポンプユニットのファンが高速回転しているため、けがの原因になります)
 - ・ お手入れや点検の後は、漏電しゃ断器と逃し弁のふたを閉じる。(雨やごみが入ると、漏電や感電の原因になります)
 - ・ 逃し弁が作動することを定期的に確認する。
(P.41)(逃し弁が正しく作動しないと、水漏れの原因になります)
- 作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



漏電しゃ断器

図は、一般地向けで説明しています。寒冷地向けでは、高置台の使用をおすすめします。



使用上のお願い

■ 湯切れすることがあります！

お湯の使用量が多いとき、長時間追いだきをしたときなど、お湯がなくなることがあります。残湯量表示を確認しながらお使いください。

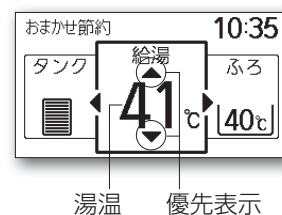
湯切れを防ぐには

- シャワーはこまめに止める。
- 多くのお湯を使うとき、不足しそうなときは「沸き増し」しておく。(P.24)
- 沸き上げモードを「おまかせ」にする。(P.25)



■ 給湯温度の調節は、優先表示のリモコンで

優先表示の出ているリモコンで設定した温度は、台所と浴室の両方に反映されます。(P.14)



■ 混合水栓は

給湯温度を低めに調節してからお使いください。



■ 寒さがきびしいときは

給水・給湯配管の凍結を予防するため、リモコンの給湯温度を「水」にして、1 分間に 200 ml 程度の水が出るようにお湯側の蛇口を開けてください。(P.47)

■ 入浴のときは「かけ湯」をおすすめします！

体についた小さな繊維くすなどが浴そうフィルターを通り抜けて製品内部に入り込むと、追いだきなどの不具合につながります。

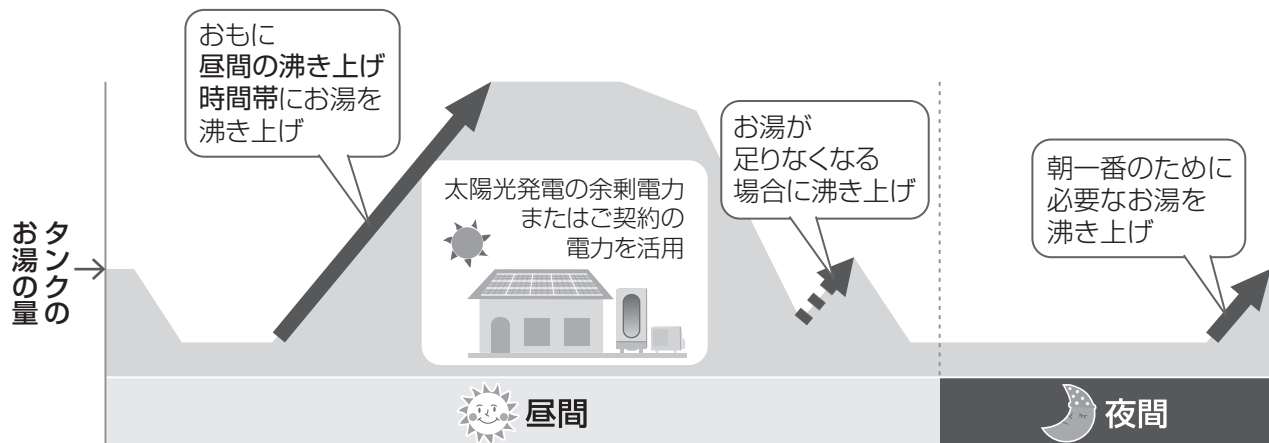


使用上のお願い (つづき)

昼間沸上げ形家庭用ヒートポンプ給湯機 **おひさまエコキュート** について

この給湯機は、太陽光発電の電力を使用する時間帯にお湯を沸かすよう設定されています。「おひさまエコキュート」に適用した電力契約でご使用ください。電力契約を誤ると思わぬ電気料金がかかる場合がありますので、ご使用前に必ず電力会社にご確認ください。

◆ 昼間沸上げ形家庭用ヒートポンプ給湯機の沸き上げイメージ



• 沸き上げを示す矢印の長さや時間帯は、季節や各家庭の使用湯量によって変わります。

- 太陽光発電を有効に使うための「昼間の沸き上げ時間帯」は、お客様ご自身で設定することができます。太陽光発電が沸き上げに必要な電力に対して余裕のないときや足りないときは電気代がかかります。詳しくは、P.26「昼間の沸き上げ時間帯を設定する」を参照してください。
- 太陽光発電が有効に利用されていなかったり、電力契約の設定が誤っていると、思わぬ電気料金がかかる場合がありますので、ご使用前に必ず電力会社にご確認ください。
 - 時間帯別電灯通電制御型、季節別時間帯別通電制御型の認定対象機器ではありません。
- AiSEG2[※]のソーラーチャージ機能など太陽光発電システムを連携する機能は使用しないでください。意図しない沸き上げをし、お湯が不足する場合があります。

※ AiSEG2は、パナソニック HOME IoTの中核商品です。

■ ご使用の前にご確認ください

沸き上げ中はヒートポンプの運転音がします

- ご近所の迷惑にならない場所に据え付けられているかご確認ください。

タンクを満水にして空気抜きをし、水を沸き上げる必要があります

- お買い上げの販売店(工事店)が実施していることをご確認ください。
- 実施されていない場合は「タンクのお湯(水)を抜いたとき」(P.44)に従って準備してください。

リモコンに「試運転ナビ」が表示されるときは…

- お買い上げの販売店にご連絡ください。(試運転が未完了です)

試運転後その日からお湯を使われるときは…

- お買い上げの販売店(工事店)が沸き増しを実施したことをご確認ください。
実施されていない場合は、沸き増しをしてください。(P.24)
- 給湯温度、ふろ温度の設定を確認して、お好みの温度に設定してください。(P.14、17)

一定期間、給湯機を使用しないときは…

- 夏場など、一定期間浴そうへのお湯はりや追いだきをしないご家庭では、給湯機のお手入れが必要です。
詳しくは『一定期間 浴そうにお湯はりしないとき』(P.62)を参照してください。
- 集合住宅で入居されず電源を切ったままにしているときは、管理者の方が必ず水抜きし、専門技術者による定期点検整備を行ってください。



使用上のお願い (つづき)

■ 浴そうなどが青くなるのは

使用地域の水質や、給湯機の銅配管により薄青くなることがありますが、水中に溶け出たわずかな銅イオンと、石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応したもので、人体に害はありません。

参考：(一社)日本銅センター発行「銅と衛生」



浴そうやタイルは

- 市販の浴室用洗剤「ウルトラハードクリーナーバス用」や「湯アカ分解」(いずれも(株)リンレイ製※)などを使ってこまめに掃除する。

※ 詳しくは(株)リンレイのWEBサイトをご覧ください。

- 強くこすると浴そうを傷つけ、傷の中に青い色が入り込み、落ちにくくなる場合があります。
- ペーパータオルを原液に浸し、青い部分に貼り付けて、しばらく(数分～数十分)放置した後、ふき取ると効果的です。



■ 入浴剤について

- 入浴剤の使用説明書をよく読んでお使いください。
- 機器故障の原因となるため、複数の入浴剤は同時に使わないでください。
- 入浴剤をご使用のときは、自動配管洗浄を必ず「入」にしてください。(お買い上げ時の設定は「入」)

次の入浴剤は使わないでください。(機器故障の原因)

- 推奨品以外の発泡系、バスバブル、石鹸(浴そう内)など
- 生薬など(葉、茎など固形のものなど)
- ミルク成分配合やとろみ系のものなど
- 硫黄、酸、アルカリ、塩分を含んだものなど

ご使用いただける
入浴剤についてなど
詳しくはこちら



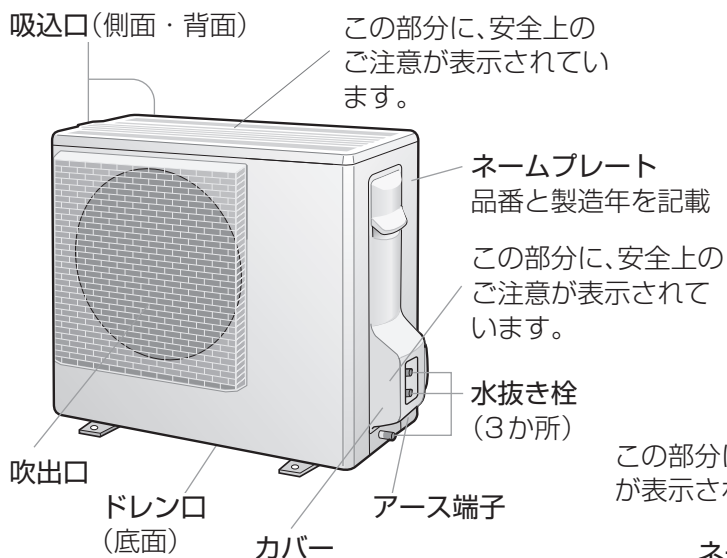
■ 定期点検やメンテナンス(修理)のためのスペースが必要です

貯湯ユニットやヒートポンプユニットを設置した場所の近くには、壁などを増築しないでください。
機器の定期点検や修理、取りはずしなど、メンテナンス時の妨げになります。(P.41、57)

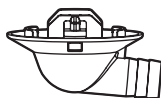
各部の名前と働き

ヒートポンプユニット・貯湯ユニット

■ ヒートポンプユニット

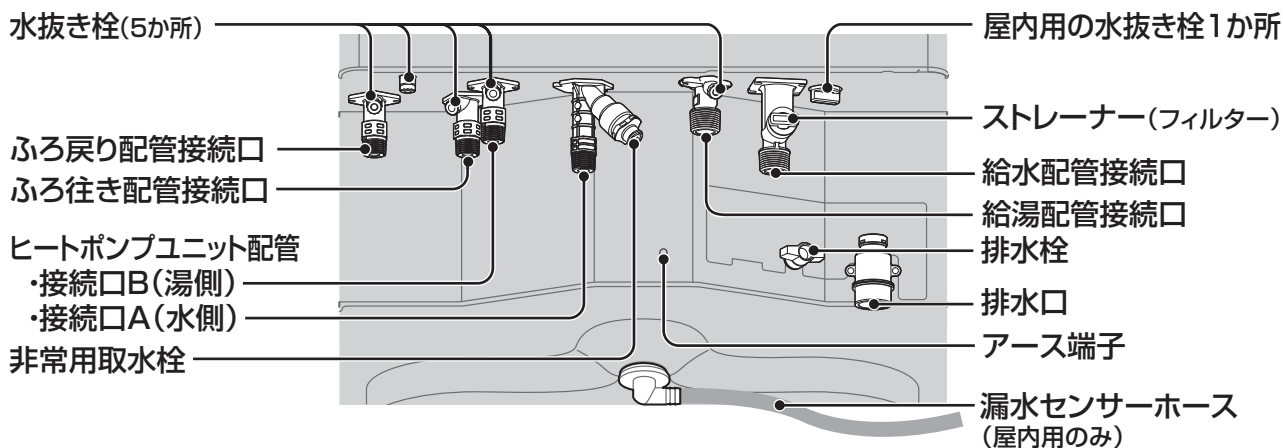


ドレンエルボ
(一般地向けのみ付属)
ドレン口に接続し、
ドレン水を排水する
とき使用します。



- 配管の接続口などを隠したいとき
脚部化粧カバー(別売品)を取り付
けることができます。(P.39)

■ 貯湯ユニット



- 図は説明のため、配管やホースを省略しています。

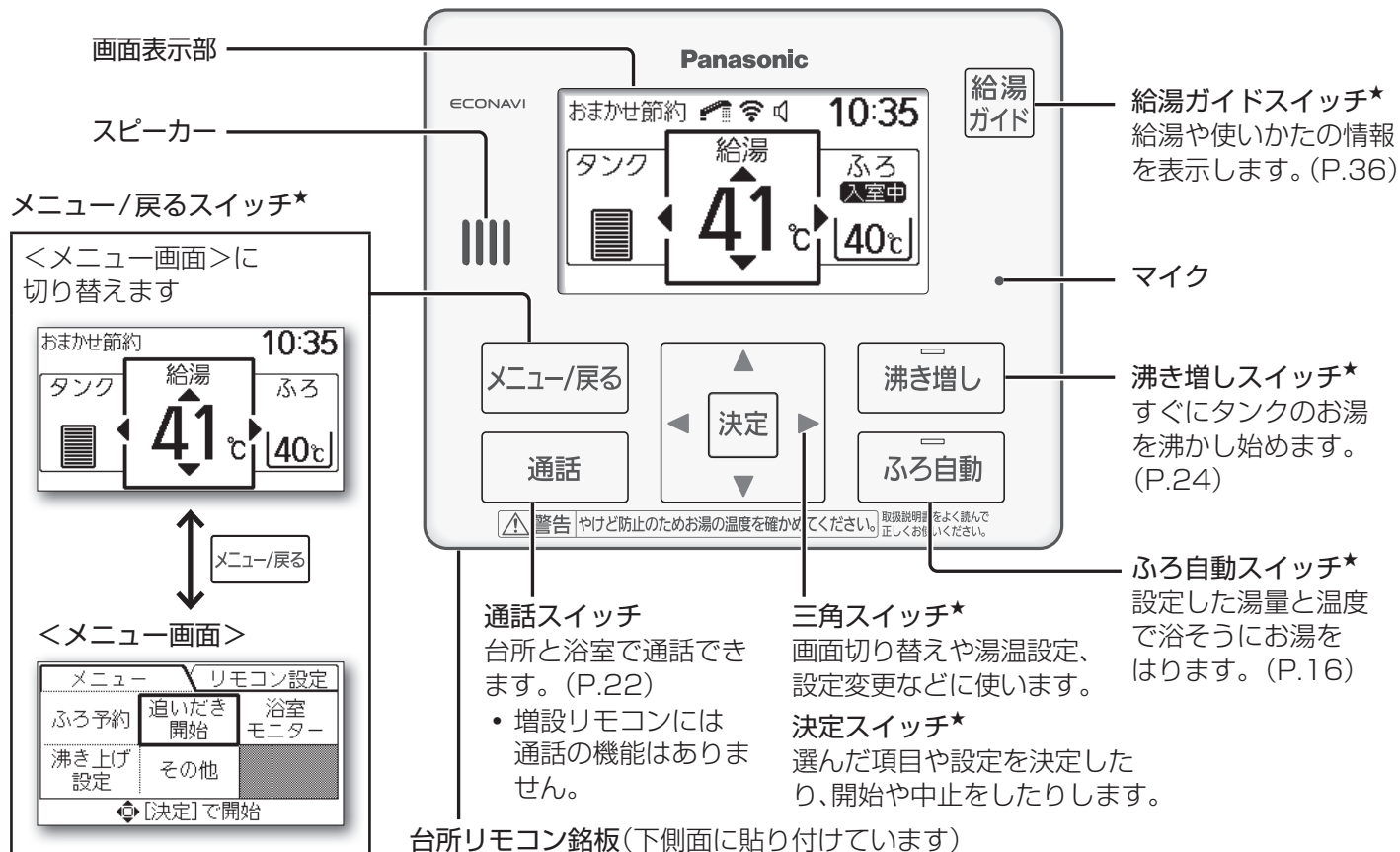
各部の名前と働き

リモコン

スイッチ操作の後に、操作手順や注意、確認などを音声でご案内します。
共通のスイッチや表示は、台所リモコンで説明しています。

台所・増設リモコン

★印のスイッチは、増設リモコンでもお使いいただけます。

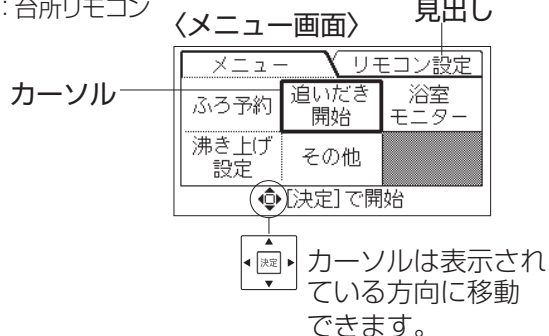


基本の操作方法

メニュー/戻るを押すと、<メニュー画面>に切り替わり、詳細の設定ができます

▲▼◀▶でカーソルを移動し **決定**を押します。
(カーソルは見出しへ移動することもできます)

例：台所リモコン

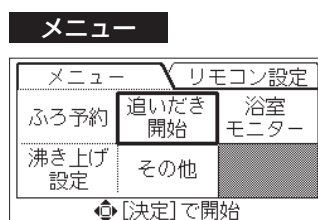


- カーソルが見出しにあるとき、◀▶を押すと画面が切り替わります。(メニュー↔リモコン設定)
- メニュー/戻る**を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- 一定時間、スイッチ操作がないと、通常の表示に戻ります。

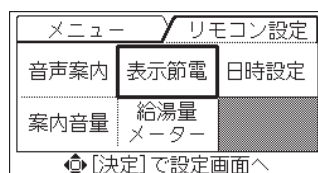
メニュー画面の種類

メニュー画面項目一覧表に詳細を示しています。(P.60,61)

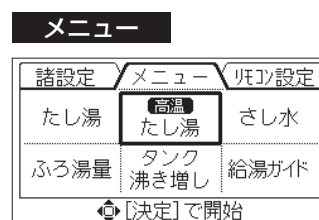
台所リモコン



リモコン設定



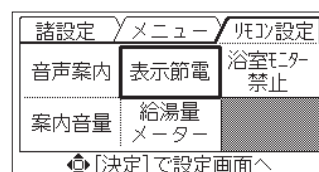
浴室リモコン

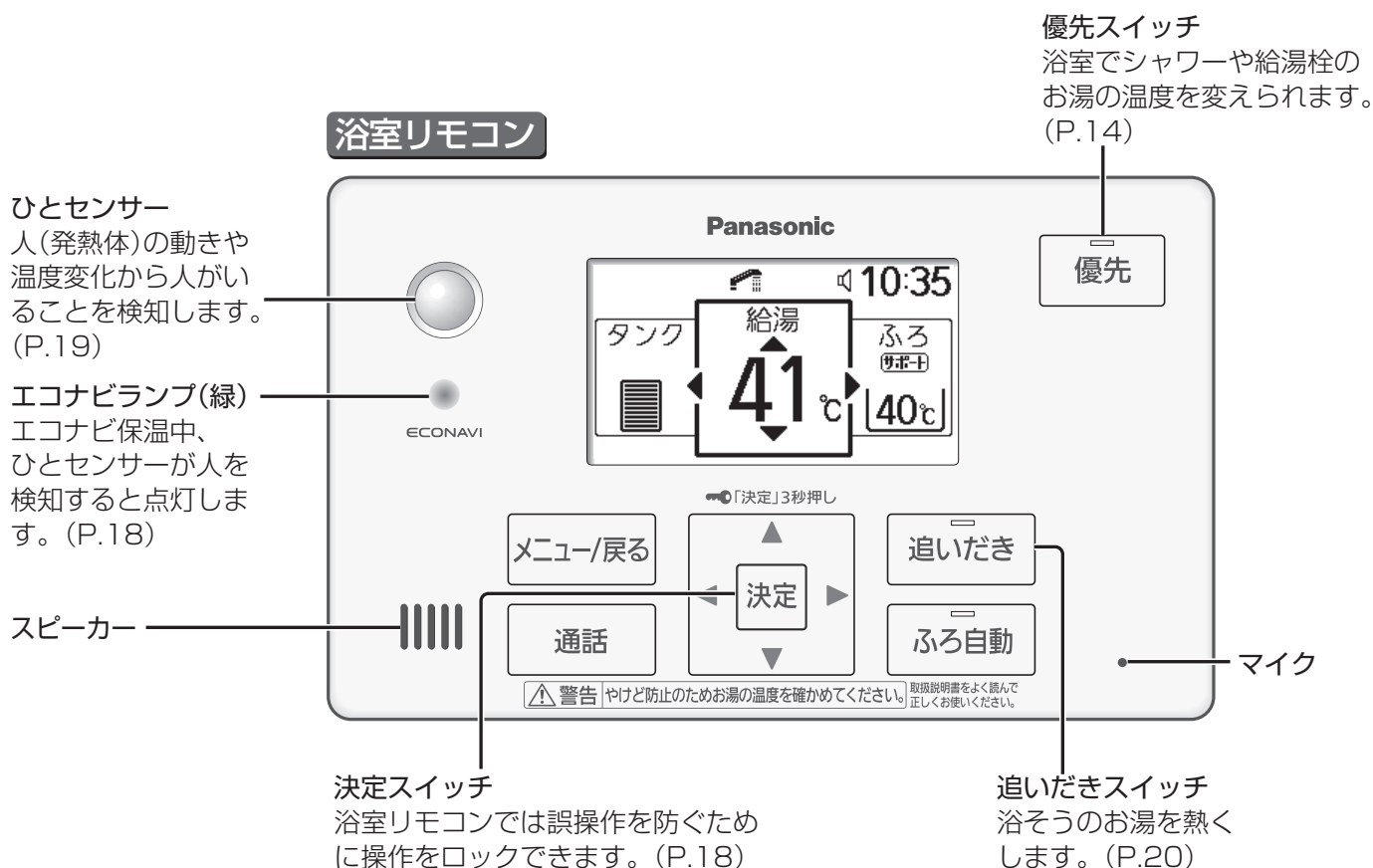


諸設定



リモコン設定

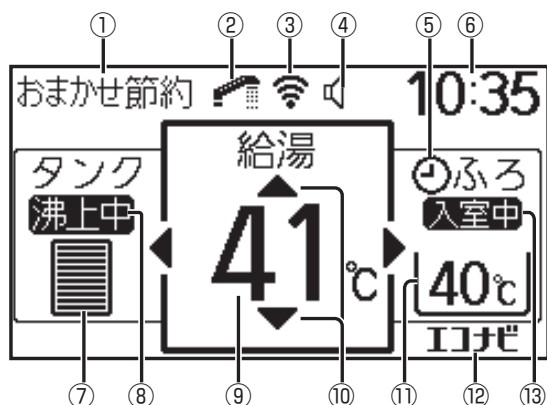




画面表示部 (説明のため、すべての内容を表示しています)

台所リモコン：(増設リモコン含む)リモコンやお湯を使い始めるとバックライトが点灯します。(P.15、29)

浴室リモコン：浴室に人がいることを検知すると、バックライトが点灯します。(P.19、29)



- ① 沸き上げモード(台所・増設リモコンのみ)(P.2、25)
- ② 給湯中表示(P.15)
お湯を使っているときに表示します。
- ③ 無線LAN表示(台所リモコンのみ)(スマホでお風呂スタートガイド)
無線LANの通信ができる状態になっているときに表示します。
- ④ 浴室モニター中 浴室モニター禁止中(P.23)
- ⑤ ふろ予約待機中表示(P.19)
- ⑥ 現在時刻(P.28)

⑦ 残湯量表示(使えるお湯の量の確認はP.36)

42℃で使えるお湯の量(目安)を表示します。各家庭の日々の使用湯量を学習し、1日に必要とする湯量を全点灯で表示します。

全点灯
お湯が多い (10段階で表示) お湯が少ない

⑧ 沸き上げ状況の表示

沸上中	タンクのお湯を沸き上げ中
昼のみ	昼間沸き上げ時間帯のみ沸き上げ(P.25)
ピークカット	ピークカット設定中(P.32)
休止中	長期間沸き上げを停止(P.42)
昼停止	当日昼間の沸き上げを停止(P.31) (台所リモコンのみ)

⑨ 給湯の設定温度(P.14)

⑩ 優先表示(P.14)

⑪ ふろの設定温度(P.17)

⑫ エコナビ エコナビ保温中(台所・増設リモコンのみ)(P.18)

エコナビ ロック設定中(浴室リモコンのみ)(P.18)

⑬ 入室中 入室サイン表示(台所リモコンのみ)(P.35)

サポート お湯はりサポート設定中(浴室リモコンのみ)(P.34)

お湯を使う(給湯)

台所や浴室などでお湯を使うための基本操作です。
混合水栓やシャワーなど、浴室でお湯を使うときは必ず浴室優先にしてください。



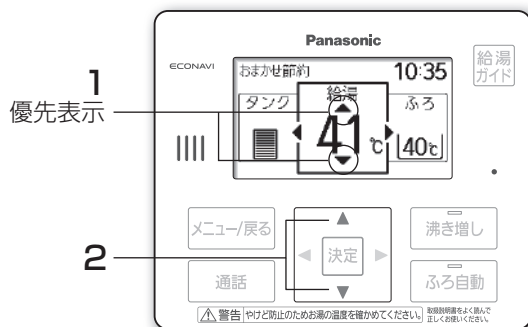
警告



浴室でお湯を使うときは必ず浴室優先にする
必ず守る (やけどの原因になります)

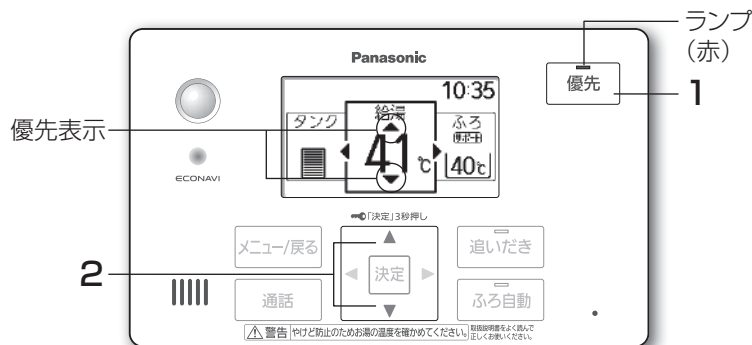
台所で給湯温度を設定する

台所リモコン で操作する



浴室で給湯温度を設定する

浴室リモコン で操作する

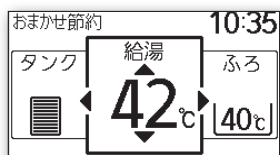


1 台所優先を確かめる

- 台所リモコンに優先表示が表示されていることを確認してください。
- 浴室優先を表示しているときは、浴室リモコンの「優先」を押して、浴室優先を解除してください。台所で以前に設定していた温度に変わります。

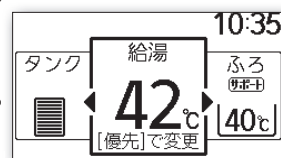


2 ▲▼で湯温を選ぶ

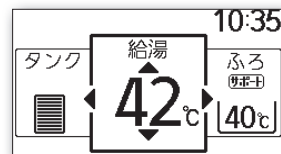


1 「優先」を押し、必ず浴室優先にする

- ランプが点灯します。(赤)
- 給湯温度の上下に▲▼が表示されていないときは、台所優先になっています。やけど防止のため、必ず浴室優先にしてください。(台所で熱いお湯に変更されると、浴室でも熱いお湯が出ます)
- 浴室優先にすると、浴室で以前に設定していた温度に変わります。



2 ▲▼で湯温を選ぶ

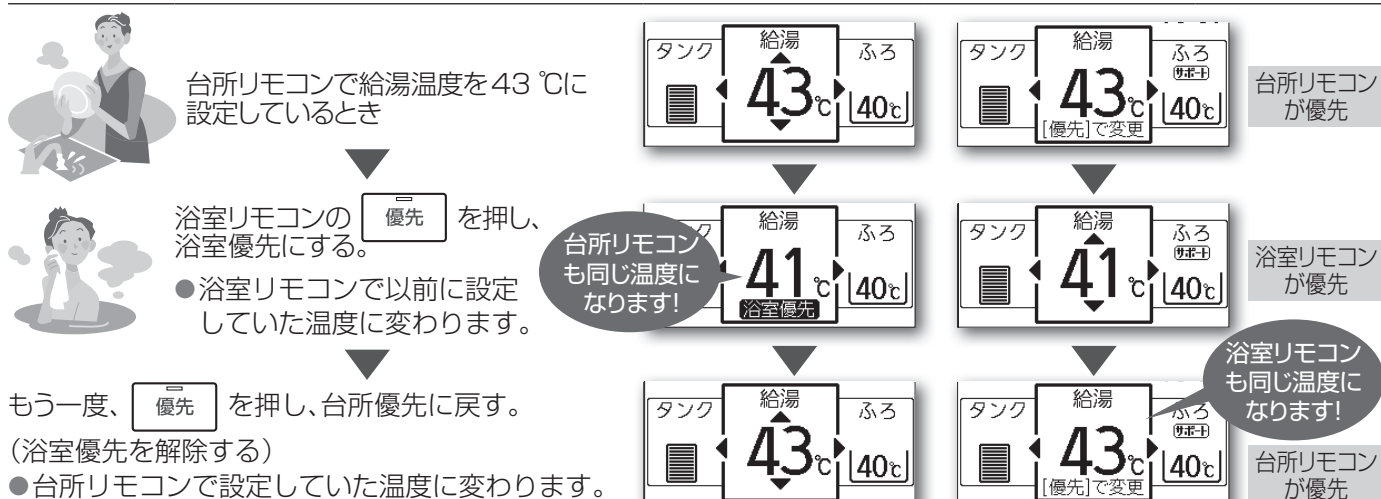


- 給湯温度は水、32、35、38～47、50、55、60℃に変えられます。
- ▲を押し続けると、45℃でいったん止まり、さらに押すと46、47、50、55、60℃に変わります。

■ 給湯温度の設定とリモコン表示について

給湯温度は優先表示のあるリモコンで調節できます。設定した温度は台所リモコンと浴室リモコンの両方に反映されます。

リモコン操作 例



お知らせ

- 給湯温度の表示は目安です。
- 断水中は、お湯が使えません。(水道水の圧力を利用して給湯しているため)
- シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したときは、水になることがあります。
- 沸き上げ中は、湯温が変動することがあります。
- 給湯開始時、一時的にぬるくなる場合があります。
- タンク内の湯温が低いときは設定温度にならないことがあります。

■「給湯中表示」について

台所や浴室などでお湯を出しているときは、「給湯中表示」が出ます。

- 少ししかお湯を出していないときは水になり、「給湯中表示」は出ません。



■ 給湯量メーターについて

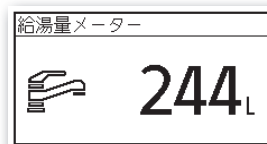
お湯を使うと…

当日使用した湯量を表示します。(約5秒間)
湯量を表示するとき、台所リモコンのバックライトが点灯します。(お買い上げ時の設定)



お湯を止めると…

使用後の湯量の合計を表示します。(約5秒間)
台所リモコンのバックライトは、1分後に消灯します。(お買い上げ時の設定)



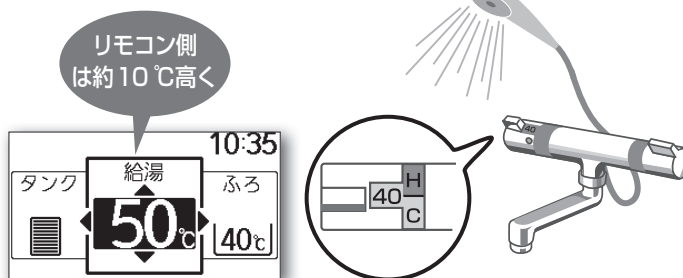
- 湯量は、42℃でお湯を使った場合の目安です。(タンク容量以上の数値になる場合があります)
- おふろの追いだきや保温で使用した湯量は含みません。
- 給湯量メーターは0時00分から23時59分までに使用した数値です。(0時00分に0Lになります)
- 給湯量メーターを表示しないようにできます。(P.28)
- 台所リモコンのバックライトは、消灯する時間を変更したり、常時点灯、常時消灯にすることもできます。詳しくは、P.29「表示節電」を参照してください。

■ お湯がぬるく感じる時(サーモスタットタイプの混合水栓)

例えば混合水栓側を40℃に設定するとき…

リモコンの設定温度を約10℃高めに設定してください。

- リモコン側の湯温設定を高くしてもお湯がぬるいとき、自動温度調整機能付きの混合水栓で好みの温度や流量にならないときや安定しないときは、混合水栓のメーカーにお問い合わせください。

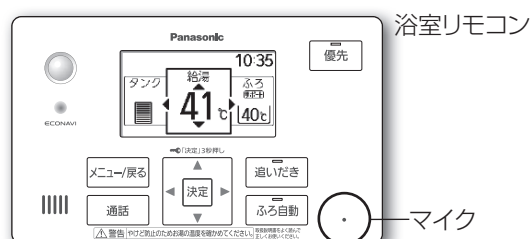


■ お湯の出が悪いと感じるとき

- リモコンの給湯温度を50℃、55℃または60℃に設定し、水と混ぜてご使用ください。混合水栓のタイプによっては、蛇口を全開にしたときのお湯の出が悪いことがあります。

お願い

- 浴室リモコンに、お湯または水をかけないでください。マイクの穴の内部に浸入した水滴の影響で、声が途切れる、小さくなるなど、うまく通話できなくなる場合があります。

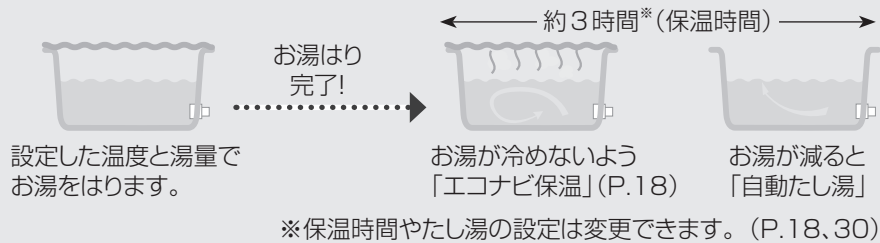


お湯をはる

ふろ自動運転

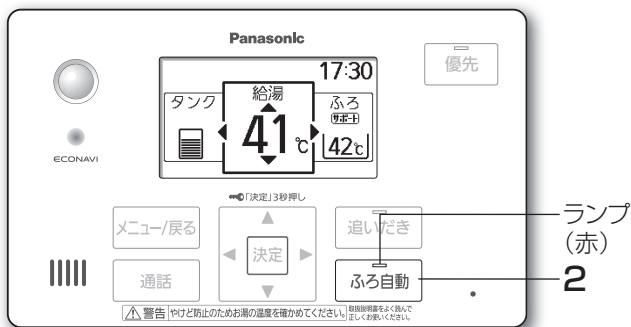
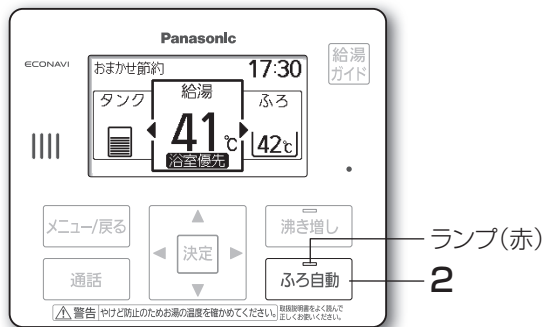
設定した温度と湯量で自動でお湯をはります。
お湯はりが完了すると保温とたし湯を自動で行います。

◆ふろ自動運転とは？



自動でお湯をはる

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する



1 浴そうを空にして栓とふたをする

2 ふろ自動 を押し、お湯はりを開始する

- ランプが点灯します。(赤)
- ふろ温度とふろ湯量を確認してください。



♪おふろが沸きました



- お湯はりが完了するとエコナビ保温・自動たし湯が始まります。
- エコナビ保温・自動たし湯が不要なときは、お湯はり完了後に ふろ自動 をもう一度押して「切」にしてください。

中止するとき

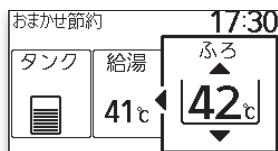
もう一度 ふろ自動 を押す(ランプ消灯)

- 浴そうのお湯を排水するときや、保温を中止するときは、ふろ自動運転を中止してください。

ふろ温度を調節する

【台所リモコン】 または 【浴室リモコン】 で操作する

1 ▶で「ふろ」を選ぶ



2 ▲▼で温度を設定する

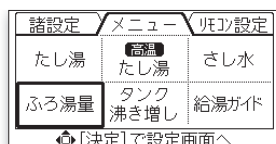
- 調節範囲：水、36～48℃(1℃刻み)
- ふろ自動運転中のふろ温度の変更は、浴室リモコンで行ってください。

ふろ湯量を調節する

【浴室リモコン】 で操作する

1 メニュー/戻る を押す

メニューの「ふろ湯量」を選び 決定 を押す



2 ▲▼で湯量を設定し

決定 を押す

- 調節範囲：100L～500L(20L刻み)
- ふろの最少湯量は、試運転時に循環口の位置に合わせて自動的に設定されます。循環口の位置が高いときや、浴そうが大きいときは、最少湯量の設定が100Lなど少なめにできないことがあります。(ふろ湯量の数値は目安です)



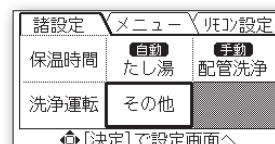
うっかりアシスト設定

【浴室リモコン】 で操作する

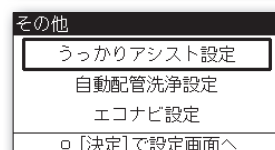
浴そうの栓をし忘れたとき、お湯はりの途中でお知らせし、お湯の排出量を抑えます。

1 メニュー/戻る を押す

諸設定の「その他」を選び 決定 を押す

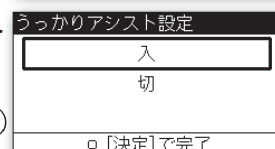


2 ▲▼で「うっかりアシスト設定」を選び 決定 を押す



3 ▲▼で下記の設定のいずれかを選び 決定 を押す

- 入(お買い上げ時の設定)
- 切



- お湯はり途中で浴そうの水位を確認(約1分間)するため、設定が「切」の場合よりも湯はり時間が長くなります。
- 設定が「切」の場合も浴そう栓忘れをお知らせしますが、「入」の場合よりも約80L(目安)多くお湯を排出します。排出する湯量は、浴そうの大きさや形状により異なります。

浴そう栓忘れのエラー表示 U51 が出たら

アラームでお知らせし、お湯はりが止まります。

① 決定 を押し、エラー表示を解除する。

U51 浴そう栓忘れ
浴そうの栓を確認し
てください。

解除は決定スイッチ

② 浴そうに栓をする。

③ ふろ自動 を押し、ふろ自動運転を再開する。

お願い

- ふろ自動運転中は、浴そうの循環口から、熱いお湯が出ることがあるため、離れてください。
- おふろの温度がぬるく感じるときは、浴そうのお湯はり温度を高くしてください。
- 浴そうのお湯を排水するときは、必ずふろ自動運転を中止してください。お湯が自動で足されるため(自動たし湯)、ムダになります。

お知らせ

- ふろ温度、ふろ湯量の表示は目安です。
- 次の場合は、正常なお湯はりができないことがあります。
 - お湯はり完了前に入浴したとき。
 - お湯はりに、混合水栓やシャワーなどから浴そうに、お湯や水を足したとき。
 - お湯はりに、浴そうからお湯をくみ出したとき。
- 冬場など、外気温や水温が低いときは、お湯はり完了報知後も数分間、追いだきを行うことがあります。
- タンクの残湯量が少ないと、「タンク残り湯少」、「ふろ自動待機中。」が表示され、残湯量が増えるまで待機します。
- 断水中は、ふろ自動運転ができません。(水道水の圧力を利用して、お湯はりや保温をしているため)
- ふろ自動運転中はポンプが作動し、音がします。

お湯をはる (つづき)

ふろ自動運転

保温時間を変更する

浴室リモコン で操作する

お湯はり完了後の保温時間を変えられます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「保温時間」を選び **決定** を押す
- 2 **▲▼**で保温時間を設定し **決定** を押す

- 0～6時間まで設定できます。
- お買い上げ時の設定は、「3時間」です。
- 0時間にすると、お湯はり完了後、ふろ保温、自動たし湯を行いません。

浴室リモコンの操作をロックする

浴室リモコン で操作する

浴室リモコンの誤操作を防止するためにロックできます。

- 1 **決定** を3秒間押す

- ロック中でもふろ自動運転の中止や追いだきの中止、通話はできます。(P.16、20、22)
- 停電したときロックは取り消されます。

取り消すとき

決定 を再度3秒間押す

◆「エコナビ保温」とは？

ふろ自動運転中、ひとセンサーによって浴室内に人が「いる・いない」を検知して効率的な保温を行います。(P.13、19)

●浴室に人が入ると

ひとセンサーが人を検知して、すばやくお湯を温めます。(お湯が冷めていないときは、すぐには温めません)

●浴室に人がいるときは

15分ごとに湯温をチェックして設定したお湯の温度を保ちます。

●浴室から人がいなくなると

保温間隔を長くします。保温間隔は浴そうの湯温の変化を学習して自動設定します。



- 省エネ効果は、季節・浴室や浴そう、入浴間隔によって異なります。
- エコナビ保温は、設定された保温時間内で行います。(上記)
- 浴室リモコンのエコナビランプ(緑)は、お湯はり完了後から保温時間内で人を検知すると点灯します。(ふろ自動を「切」にすると点灯しません) 台所リモコンでは、「エコナビ」表示になり、人がいないときも表示します。
- エコナビ保温を中止するとき→「エコナビ設定」を「切」にする(P.35)
- 入浴が終わったら、お湯が冷めないように浴そうのふたをしてください。

◆お湯はりサポートを使うとき

学習機能により、ヒートポンプの沸かしたてのお湯をタンクのお湯と一緒に使うことで、効率の良いお湯はりを行います。(P.34)

台所リモコン

エコナビ

浴室リモコン

エコナビランプ

サポート

予約してお湯をはる

お湯はりを完了させたい時刻を予約して、自動でお湯はりをします。

ふろ予約

台所リモコンで操作する

- メニュー/戻るを押す

メニューの「ふろ予約」を選び 決定を押す

決定を押す

ふろ予約を設定します
決定スイッチを押してください

ふろ予約設定

ふろ自動の予約を設定します。

[決定]で開始
- ▲▼で「時」を合わせて 決定を押す

●▲▼を押し続けると早送りします。予約完了した時刻は次回予約まで記憶されます。

ふろ予約時刻設定

20:10

[決定]で分へ
- ▲▼で「分」を合わせて 決定を押す

ふろ予約時刻設定

20:00

[決定]で予約完了

おまかせ節約 10:35

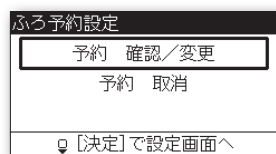
タンク 給湯 41℃ 40℃

○が表示されます

ふろ予約の確認/変更、取り消し

手順1の後、▲▼で「予約 確認/変更」または「予約 取消」を選び

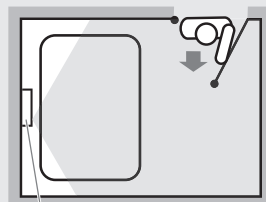
決定を押す



- お湯はり完了時刻は、浴そうに残り湯がある場合や水压等の条件により、予約時刻から前後します。
- 次に予約をするときは、再度ふろ予約をしてください。予約時刻は前回の設定を記憶しています。
- ふろ自動運転中に予約をすると、ふろ自動運転が停止します。ふろ予約中にふろ自動運転をすると、ふろ予約は取り消されます。

◆ひとセンサーについて(浴室リモコンに搭載)

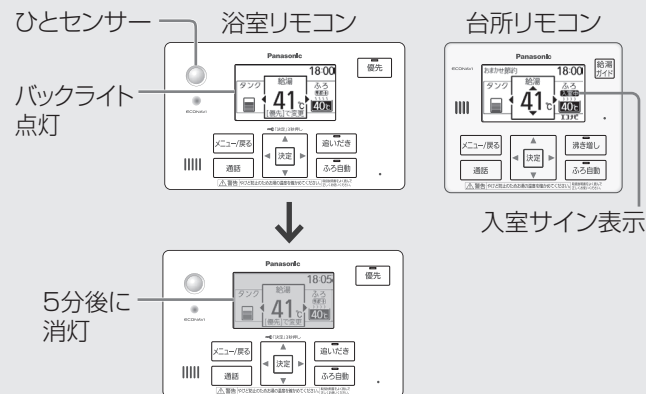
- ひとセンサーは、人(発熱体)の動きや温度変化から、浴室内に人がいることを検知します。
ただし、次のような場合は、正しく検知されないことがあります。
 - 浴室暖房、ミストサウナなどを使用している。
 - 浴室内が30℃以上になっている。
 - センサーの表面が汚れている。
 - 人が動かないでじっとしている。(約5分以上)
 - センサーの前に障害物がある。
 - 人がリモコンに対してまっすぐ向かう動きをしている場合。



センサー
検知範囲

ひとセンサー(浴室リモコン)

- ひとセンサーが浴室に人が入ったことを検知すると、浴室リモコンの画面表示部のバックライトが自動的に点灯します。(浴室リモコンの取り付け位置によっては、すぐに点灯しないことがあります)
- 浴室から人が出て約5分経過すると、人がいないと判断し、バックライトは自動的に消灯します。(P.29)
- ひとセンサーが浴室に人が入ったことを検知すると、台所リモコンに「入室中」入室サイン表示を行い、人が浴室にいることをお知らせします。(P.35)



- ふろ自動運転中は、エコナビ保温により効率的な保温を行います。(P.18)
- 扉を開けたままにしておくと、浴室の外の人を検知することがあります。
- 「入室中」入室サイン入切設定をすることができます。(P.35) 人の退室を検知した後もしばらく入室サイン表示は点灯を続け、その後消灯します。消灯するまでの時間は変更ができます。(P.35「退室判定時間設定」)

お願い

- 幼児、乳幼児や身体の不自由な方、高齢者などが入浴されている場合は、「入室中」表示が点灯したり消灯したりしていないか注意し、浴室をこまめに確認するよう心がけてください。
- ひとセンサー表面を強く押さないでください。(故障のおそれ)

お知らせ

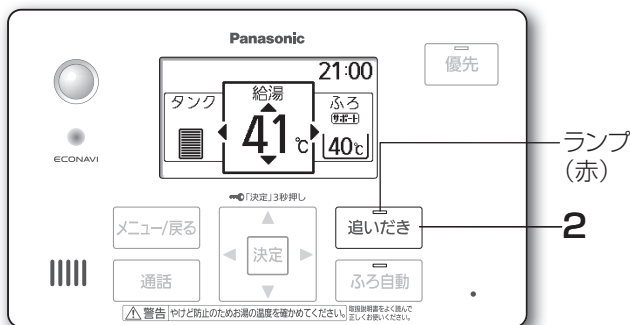
- ひとセンサーの検知感度は調整することができます。(P.30)

追いだきする

お湯はり後、浴そうのお湯を増やさず熱くすることができます。

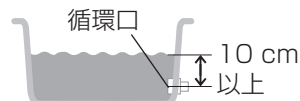
追いだき

浴室リモコン で操作する



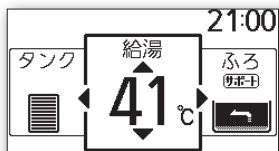
1 お湯の量を確認める

- 循環口から 10 cm 以上、お湯が必要です。



2 追いだき を押す

- ランプが点灯します。(赤)
- 「タンク残り湯少」「追いだき待機中」を表示するときは「沸き増し」してください。(P.24) 表示が何度も出るとき→(P.56)
- 追いだき中は、循環口から離れてください。熱いお湯が出てきます。
- はじめは配管中のぬるいお湯や水が出ることがあります。
- 追いだき完了後や中止後も、約 20 秒間お湯や水が出ます。



中止するとき

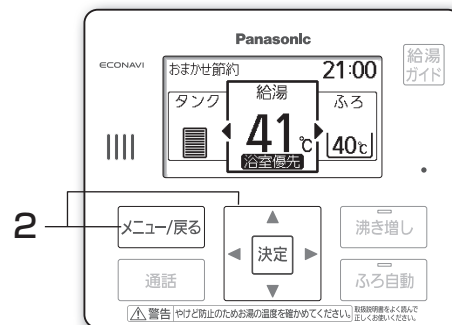
もう一度 **追いだき** を押す(ランプ消灯)

お知らせ

- 追いだきすると、リモコンの残湯量表示の目盛りが減ることがあります。

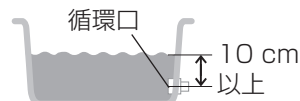
追いだき

台所リモコン で操作する



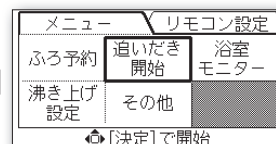
1 お湯の量を確認める

- 循環口から 10 cm 以上、お湯が必要です。



2 メニュー/戻る を押す

- 「メニュー」の「追いだき開始」を選び「決定」を押す



中止するとき

- 「メニュー/戻る」を押す、
- 「メニュー」の「追いだき中止」を選んで「決定」を押す



警告



循環口に体を近づけない

(やけどの原因になります)



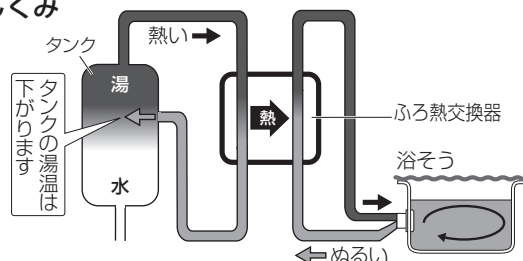
追いだきって、どのくらい熱くなる？

追いだきスイッチを押したとき、お湯の温度が…

- 設定より低いとき→設定温度まで熱く(もっと熱くしたいときは、もう一度押してください)
- 設定どおり、または設定より高いとき→設定温度より約 2℃ 熱く(もっと熱くしたいときは、ふろ設定温度を上げてください)

◆追いだき・保温のしくみ

(イメージ図)



追いだきやおふろの保温(P.16)は、新しいお湯を足さずに、タンクの熱いお湯で浴そうのぬるいお湯を温めます。このため、タンク内の湯温が下がり、残湯量は減ります。

- 浴そうのお湯とタンクのお湯は混じりません。
- 追いだき中はポンプが作動し、音がします。
- 断水中は、追いだきできません。(水道水の圧力を利用して、お湯を循環しているため)

お湯や水を足す

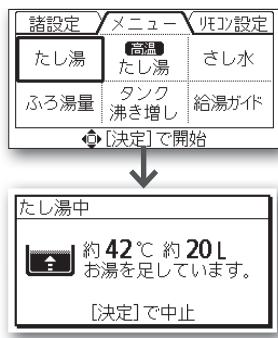
お湯はり後、お湯や水を足して、湯量やお湯の温度を調節することができます。

お湯を足す(たし湯)

浴室リモコン で操作する

設定温度(P.17)のお湯を、約20 L足します。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「たし湯」を
選び **決定** を押す
 - たし湯完了後や中止後
も、約10秒間お湯が出
る場合があります。
 - 設定温度が「水」のとき
は、水を約20 L足しま
す。
 - はじめはぬるいお湯や
水が出るることがありま
す。



中止するとき

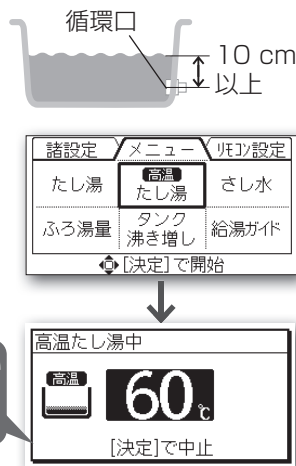
もう一度 **決定** を押す

熱いお湯を足す(高温たし湯)

浴室リモコン で操作する

約60℃のお湯を、約20 L足します。

- 1 お湯の量を確認める
●循環口から10 cm以上、
お湯が必要です。
- 2 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「高温たし湯」
を選び **決定** を押す



中止するとき

もう一度 **決定** を押す

- 浴そうのお湯が少ない場合、お湯が出るまで1分間程度かかることがあります。
- 浴そうの循環口までお湯がない場合は、高温たし湯はできません。右の表示が出ます。
たし湯を行った後、操作してください。
- 高温たし湯完了後や中止後も、約20秒間お湯が出る場合があります。
- タンク内の湯温が低いときは、60℃より低い温度のお湯が出ます。
- はじめはぬるいお湯や水が出る場合があります。
- 停電復旧後などは、浴そうのお湯の量が多くても高温のお湯が出るまで1分間程度かかることがあります。

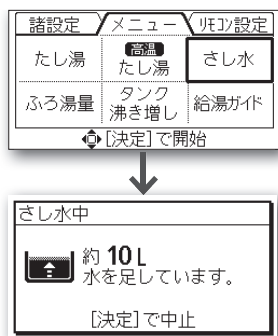
浴そうの湯量が少ない
ため、高温たし湯は
できません。

水を足す(さし水)

浴室リモコン で操作する

水を、約10 L足します。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「さし水」を
選び **決定** を押す
 - さし水完了後や中止後
も、約20秒間水が出る
場合があります。
 - ふろ保温中のときは、さ
し水完了後、約30分間
はふろ保温を行います。



中止するとき

もう一度 **決定** を押す

警告



循環口に体を近づけない
(やけどの原因になります)



追
い
だ
き
す
る
／
お
湯
や
水
を
足
す

通話する

台所と浴室で、交互に会話ができます。(同時に話せません)

台所と浴室で会話をする

台所リモコン または **浴室リモコン** で操作する

1

通話 を押す

- 台所と浴室で、お互いに会話ができます。
▲▼で音量を変えられます。

♪ピンポンパンポン♪
…の音の後に会話
できます



2

再度 **通話** を押して会話を終わる

(台所・浴室どちらのリモコンでも操作できます)

- 通話スイッチを押さない場合は、約 30 秒後、自動的に通話を終了します。

■ シャワーやテレビの音をひろうなど、うまく通話できないときは

通話 を押しながら会話してください

- **通話** を押し続けているほうが、優先で[話す側]になります。(話し終わったら、通話スイッチを離してください)

例 浴室リモコンの **通話** を押し続けているとき



[話す側]



「送話」と表示されます
(送話側には相手の声は聞こえません)



[聞く側]



「受話」と表示されます
(受話側は話すことができません)

お知らせ

- 声が途切れる、声が小さいなど、うまく通話ができないときは、次のような方法をお試しください。
 - ・ 同時に話さない。
 - ・ リモコンに近づいて話す。(30 cm以内)
 - ・ シャワーは止めておく。
 - ・ ハウリング(キーンなどの大きな音)を起こす場合は音量を下げる。
- リモコンから 20 cm 以内に物を置かないでください。(通話が途切れることがあります)
- ハウリング(キーンなどの大きな音)を起こす場合は、台所リモコンおよび浴室リモコンで、「マイク感度設定」を「低い」にしてください。(P.29)

浴室の様子を聞く

台所から浴室の音を聞いて様子を確認することができます。

浴室モニターする

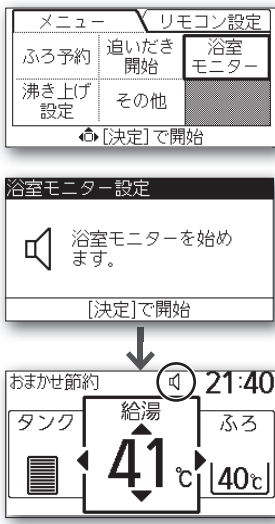
台所リモコン で操作する

1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「浴室モニター」を選び **決定** を押す

2 **決定** を押す

● 台所と浴室のリモコンに  が表示されます。約60分後、自動的に終了します。

● 浴室モニター設定が禁止のときは  が表示されます。



中止するとき

手順 **1** の後、▲▼を押して「浴室モニター停止」を選び、**決定** を押す

音量を変えるとき

- ① 手順 **1** の後、▲▼を押して「モニター音量変更」を選び、**決定** を押す
- ② ▲▼で音量を変更し **決定** を押す

浴室モニターを禁止する

浴室リモコン で操作する

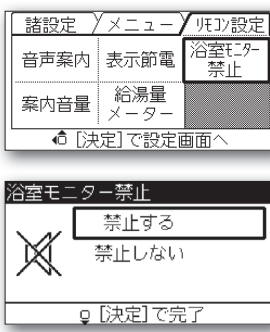
浴室の音を台所から聞かれないようにすることができます。

1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「浴室モニター禁止」を選び **決定** を押す

2 ▲▼で「禁止する」を選び **決定** を押す

● 台所と浴室のリモコンに  が表示されます。約30分後、自動的に「禁止しない」に戻ります。

● モニター禁止中でも通話はできます。(P.22)



通話する／浴室の様子を聞く

沸き増しする

急な来客などで、ふだん以上にお湯を使うようなときは、手動でタンクのお湯を沸き増しできます。すぐには沸き上がらないため、早めに沸き増しすることをおすすめします。

台所で沸き増しする

台所リモコン で操作する

1 沸き増し を押す

- ランプが点灯します。(赤)

2 沸き増し湯量を変更するときは、▲▼で湯量を選び、決定 を押す

- 決定 が押されない場合は、前回の設定湯量で沸き増しをします。
- 設定範囲：100 L、200 L、300 L、400 L、500 L、全量（お買い上げ時の設定は「500 L」）
- 沸き増し湯量は 42℃ でお湯を使うときの目安です。お湯の使用量の目安(下記)を参考に設定してください。



100 L 沸き増しするの
に約 1 時間かかります
(条件により時間が長
くなることがあります)

- 100 L～500 L 設定時は、設定湯量沸き増し後、自動解除します。条件により設定した湯量まで沸き増しせず、自動解除することがあります。(P.52)
- 「全量」設定時は、24 時間後、自動解除します。条件によりタンクいっぱいまで沸かさず、沸き上げ停止することがあります。(P.52)

中止するとき

もう一度 **沸き増し** を押す(ランプ消灯)

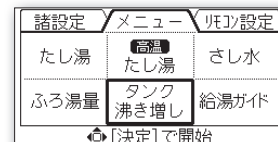
浴室で沸き増しする

浴室リモコン で操作する

1 メニュー/戻る を押す

メニュー の「タンク沸き増し」を選び 決定 を押す

- 沸き増し湯量は台所リモコンで設定した湯量になります。
- 沸き増し中は、台所リモコンの沸き増しスイッチのランプも点灯します。



沸き増しを開始します。



中止するとき

メニュー/戻る を押し、メニュー の「沸き増し中止」を選び 決定 を押す



沸き増しを中止しました。

■ お湯の使用量の目安

洗面と台所	家族 1 人当たり/ 約 20 L～30 L	
シャワー	1 回当たり/ 約 50 L～80 L	
お湯はり	1 回当たり/約 180 L (浴そうの大きさや使いかた によって変わります。)	
保温	1 時間当たり/約 40 L～60 L (湯量 180 L、ふたをしなくて 1 時間に 2 人入浴するとき)	
追いだし	1 回当たり/約 60 L～90 L (湯量 180 L、ふろの湯温を 37℃ から 42℃ に上げるとき)	

沸き上げモード を変える

タンクのお湯の沸かし方には「おまかせ節約」と「おまかせ」の2つのモードがあります。
まずは「おまかせ節約」でお使いください。(P.2)

昼のみ沸き上げ 設定をする

太陽光発電を有効利用するために「昼間の沸き上げ時間帯」のみでお湯を沸かします。

沸き上げ設定

台所リモコン で操作する

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「沸き上げ設定」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「沸き上げモード」を
選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で「おまかせ節約」
または「おまかせ」を選び
決定 を押す

●お買い上げ時の設定は、
「おまかせ節約」です。

●ご使用開始後7日間は、
右の表示が出ます。
(「おまかせ節約」のみ)

ただ今学習中です。
湯切れするときは
変更をお願いします。

昼のみ沸き上げ設定

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

- 1 ◀で「タンク」を選ぶ
- 2 ▲で「昼のみ沸き上げ設定」
を「入」にする

●設定中に湯切れしそうな
場合は、沸き増しをし
てください。(P.24)

●**決定** を押すと元の
表示に戻ります。

「昼のみ」を確認して
ください。

●一度設定すると連続設定となります。

「昼のみ沸き上げ設定」を取り消すとき
手順2で、▼を押し「昼のみ」を「切」にする

沸き増しする／沸き上げモードを変える／昼のみ沸き上げ設定をする



◆おまかせ節約

省エネ推奨モード

実際に使ったお湯の量を学習し、
“我が家”に合わせた最適なお湯
の量を、自動で沸かします。



◆おまかせ

「おまかせ節約」では お湯が足りない場合

実際に使ったお湯の量を学習し、
「おまかせ節約」より多めに、最適
なお湯の量を自動で沸かします。

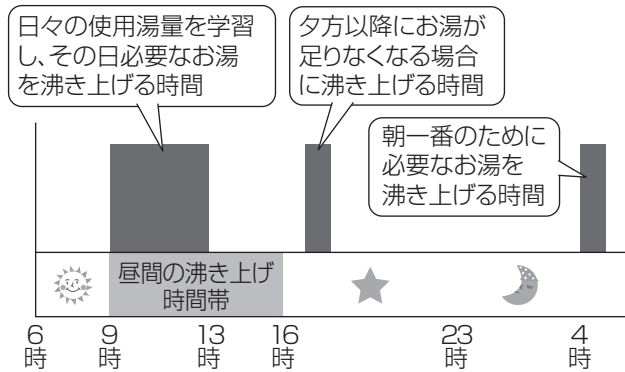
- お湯が足りないと予測したときは、昼間も自動で沸き上げを行います。
- 夏場など、お湯の使用量が少ないとき、タンクいっぱいまで沸かせないことがあります。

昼間の沸き上げ時間帯を設定する

太陽光発電システムで発電した電力を沸き上げに有効利用するため、昼間の沸き上げ時間帯を1時間単位で設定できます。1日に必要な湯量をおもに昼間の時間帯に沸き上げるため、太陽光発電量の多い時間帯を設定してください。

◆沸き上げイメージ

(昼間の沸き上げ時間帯の推奨：9時～16時)

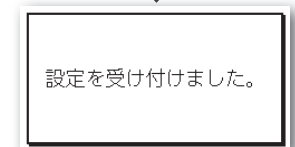
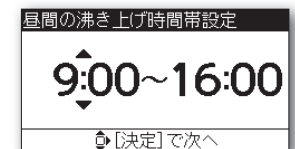
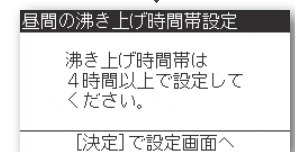
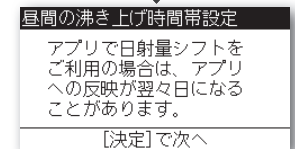
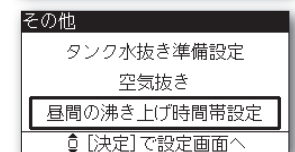
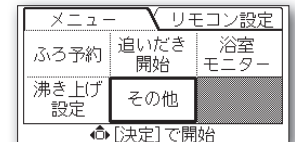


- 昼間の沸き上げ時間帯を設定すると、実際に使ったお湯の量を学習し、各家庭に合わせて最適の湯量を自動で沸かします。
そのため、設定時間内であっても沸き上げを終了することがあります。
- 「昼間の沸き上げ時間帯」で沸き上げる湯量が足りないと学習しているときは、必要な湯量を夜から朝にかけて自動で沸かします。
- 「昼間の沸き上げ時間帯」に、その日に使うお湯の半分以上を沸き上げます。

昼間の沸き上げ時間帯設定

台所リモコン で操作する

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「昼間の沸き上げ
時間帯設定」を選び
決定 で進める
● 設定可能時間帯：
8時から17時の間で
4時間以上
- 3 ▲▼◀▶で昼間の沸き上
げ時間帯の開始時刻と
終了時刻を合わせ
決定 を押す
● 1時間単位で設定でき
ます。
▲▼を押し続けると
早送りします。



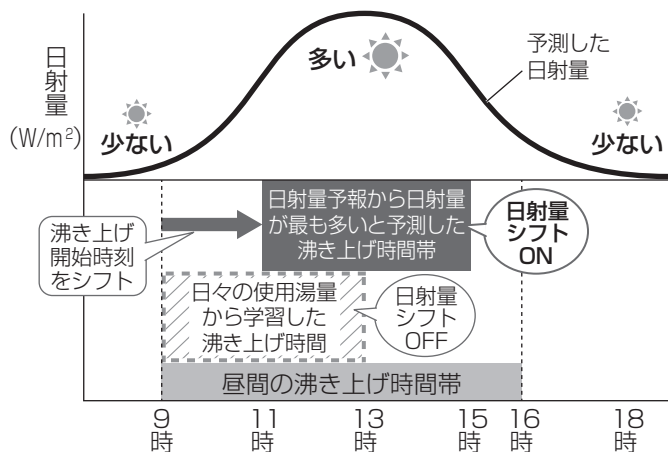
お知らせ

- 「昼停止」や「ピークカット」設定中でも、設定された昼間の沸き上げ時間帯には必要なお湯を沸かします。
- この給湯機は、昼間沸上げ形家庭用ヒートポンプ給湯機に適用する電力会社の契約プランでご使用いただく必要があります。(P.8)
- ご契約の電力プランによっては、時間帯別に異なる料金設定となっているものがあります。電力会社にお問い合わせいただき、適切な時間帯を設定してください。

アプリで日射量シフトを設定する

日射量が最も多くなる時間帯をアプリが予測し、「昼間の沸き上げ時間帯」(P.26)の範囲内で沸き上げ開始時刻をシフトします。ご利用の際は、「昼間の沸き上げ時間帯」が適切に設定されていることを確認してください。時間帯を長めに設定することで、日射量予測をする範囲が広がり、太陽光発電の有効利用ができます。

◆日射量シフトのイメージ



- 給湯機が設置されている地域の日射量予測データを取得し、翌日(次回)の最適な沸き上げ開始時刻を1時間単位で予測します。
- 「次回の沸き上げ予定時間」は、毎日17:00～23:00の間に確定し、日射量シフトの設定画面に表示されます。
- アプリで日射量シフトの設定を変更、またはリモコンで「昼間の沸き上げ時間帯」を変更した場合、日射量シフトへの反映は翌々日になることがあります。
- いつもよりお湯をたくさん使うときは、早め(前日)に沸き増しを行ってください。

昼間の沸き上げ時間帯設定や日射量シフトについての情報をご覧ください。



・リンク先の情報は、予告なく変更される場合があります。



日射量シフトを設定する

スマホでおふろ で操作する

専用アプリ「スマホでおふろ」をインストールし、初期接続を行ってください。(スマホでおふろ スタートガイド参照)

① 設置場所を登録する

- 1 ホーム画面右下の「その他」をタップ
- 2 「その他」画面で「設置場所」をタップ
- 3 画面の案内に従って設置場所を登録する



② 日射量シフトを「ON」にする

- 1 ホーム画面の日射量シフトアイコンをタップ
- 2 日射量シフトを「ON」にする



沸き上げ予定時間が確定するまでは、「--- ~ ---」と表示されます。

- 3 設定 をタップ

お知らせ

- 専用アプリは、スマートフォンのOS (Operation System) を最新版にアップデートのうえ、ご利用ください。
- 専用アプリの内容は予告なく変更されることがあります。また、本書に記載しているアプリのアイコンや画面などは、アプリの更新により変わることがあります。

設定を変える

日時設定

台所リモコン で操作する

時刻がずれているときは合わせてください。
(思わぬ電気料金がかかることがあります)

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「日時設定」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「年」を合わせて
決定 で進める
同様に「月」「日」も合わせる
- 3 ▲▼で「時」を合わせて
決定 を押す
●夜の12時は「0:00」です。
▲または▼を押し続けると早送りできます。
- 4 ▲▼で「分」を合わせて
決定 を押す
●▲または▼を押し続けると早送りできます。

- 正しく日時を合わせても大幅にずれる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 設定した日時は、浴室リモコンにも同時に反映されます。

給湯量メーター

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

給湯量メーターを表示させない設定に変えられます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「給湯量メーター」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で下記の設定のいずれかを選び **決定** を押す
 - 入：給湯栓の開閉時に、当日の使用湯量を表示します。
(お買い上げ時の設定)
 - 切：表示しません。
 - 給湯量メーターを「入」にしても、通話中は表示しません。

音声案内

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

音声案内の設定を変えられます。
台所リモコンの設定は台所リモコンで、浴室リモコンの設定は浴室リモコンで行います。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「音声案内」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で下記の設定のいずれかを選び **決定** を押す
 - 音声とメロディー：
音声とメロディーで案内します。
(お買い上げ時の設定)
 - メロディー：
メロディーのみで案内します。
 - 切：音声、メロディーともに案内しません。

案内音量

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

案内の音量を変えることができます。
台所リモコンの設定は台所リモコンで、浴室リモコンの設定は浴室リモコンで行います。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「案内音量」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で設定を選び **決定** を押す
 - 4段階に音量が変更されます。
 - お買い上げ時の設定は「2」です。

マイク感度設定をする

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

マイクの感度を調整できます。
通話中に「キーン」という大きい音が発生したら、音がするリモコンのマイク感度を「低い」に設定してください。

台所リモコン の設定をするとき

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「マイク感度設定」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す
●お買い上げ時の設定は「高い」です。

浴室リモコン の設定をするとき

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「マイク感度設定」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す
●お買い上げ時の設定は「高い」です。

表示節電

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

リモコンやお湯を使っていないときに、画面表示部のバックライトが消灯します。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「表示節電」
を選び **決定** を押す

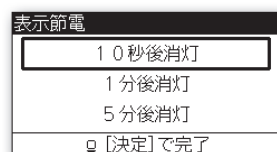


台所リモコンの場合

2 ▲▼で下記の設定のいずれかを選び **決定** を押す

<台所リモコンの場合>

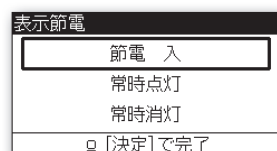
- ・10秒後消灯
- ・1分後消灯
(お買い上げ時の設定)
- ・5分後消灯
- ・15分後消灯
- ・30分後消灯
- ・常時点灯
- ・常時消灯



- 設定した時間が過ぎると画面表示部のバックライトが消灯します。

<浴室リモコンの場合>

- ・節電 入
(お買い上げ時の設定)
- ・常時点灯
- ・常時消灯



- 節電入のとき、浴室から人が出て約5分経過すると、画面表示部のバックライトが消灯します。(P.19)



- 常時消灯時でも、50℃以上で給湯する場合は、安全のためバックライトが点灯します。
- 画面表示部で「タンク」「ふろ」の画面を選んでいるときは、バックライトの自動消灯はしません。

お知らせ

- 周囲の音の影響でうまく通話ができないときは、マイク感度を「低い」に設定するか、周囲の音を小さくしてから通話してください。

設定を変える (つづき)

台所リモコンのコントラストを調整する

台所リモコン で操作する

台所リモコンの画面表示が見にくい場合、コントラスト(濃淡)を調整できます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「コントラスト調整」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す

●5段階に調整できます。
●お買い上げ時の設定は「3」です。

浴室リモコンのコントラストを調整する

浴室リモコン で操作する

浴室リモコンの画面表示が見にくい場合、コントラスト(濃淡)を調整できます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「コントラスト調整」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す

●5段階に調整できます。
●お買い上げ時の設定は「3」です。

- リモコンの設置場所によって、画面表示の見えかたが異なります。設定は台所リモコン、浴室リモコンそれぞれで行ってください。

ひとセンサー感度設定をする

浴室リモコン で操作する

浴室内に人がいないのに、浴室リモコンのバックライトや台所リモコンの**入室中**が点灯する場合、ひとセンサー(P.19)の感度を調整できます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「ひとセンサー感度
設定」を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す

●4段階に調整できます。
●お買い上げ時の設定は「3」です。
●感度設定中は、人を検知すると「ピッピッ」と検知確認音が鳴ります。リモコンから離れ浴室の外に出たときに、音が鳴らないよう調整してください。音声案内を「切」にしている場合、検知確認音は鳴りません。

自動たし湯の設定を変える

浴室リモコン で操作する

自動たし湯(P.16、17)の設定を切ることができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「自動たし湯」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で下記の設定のいずれ
かを選び **決定** を押す

●お湯はり後の自動たし湯をやめるときは「切」を選んでください。

- ・入：
お湯はり後のふろ保温中に、自動でたし湯します。(お買い上げ時の設定)
- ・切：
自動でたし湯しません。
お湯はり後、「保温のみ」が表示されます。

- ジェットバスなどの気泡ぶろのご使用で、水位が検知されにくい場合は自動たし湯の設定を「切」にしてお使いください。

定量沸き上げ設定

【台所リモコン】で操作する

通常はお湯の使用量が少ないご家庭で、来客などによりお湯の使用量が増え、タンクのお湯が不足する場合に設定します。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「定量沸き上げ設定」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で下記の設定のいずれ
かを選び **決定** を押す
 - ・入：定量沸き上げ設定が働きます。
 - ・切：定量沸き上げ設定が働きません。
(お買い上げ時の設定)

- あらかじめ設定を「入」にしておくと、タンク全量のお湯を沸き上げて、来客などにそなえることができます。
- 太陽光発電の電力だけでは不足する場合があります、電力会社の電力を使って沸き上げることがあります。
- 通常は「切」にしてください。
使ったお湯の量を学習し、ご家庭に最適な量のお湯を沸き上げます。
日々のお湯の使用量が少ないご家庭では、沸き上げる量は少なくなっています。

昼停止設定(当日のみ)

【台所リモコン】で操作する

その日はもうお湯を使わないとき、夜間までの沸き上げを停止できます。

- ・当日のみの設定です。
- ・午後11時になると自動解除します。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「沸き上げ設定」
を選び **決定** を押す
 - 2 ▲▼で
「昼停止設定」を選び
決定 を押す
 - 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す
 - ・入：当日昼間の沸き上げを停止します。
 - ・切：昼間時間帯も沸き上げを行います。
(お買い上げ時の設定)
- 昼間の沸き上げ時間帯は沸き上げを行います。(P.26)
- 決定** を押すと元の表示に戻ります。
「昼停止」を確認してください。

- 昼のみ沸き上げ設定中に「昼停止」をしても、昼のみ沸き上げ設定が優先されます。(P.25)
- ピークカット中に「昼停止」すると、表示は「ピークカット」→「昼停止」に変わります。(P.32)
- 昼間時間帯の沸き上げ停止中でも、沸き増しはできます。(P.24)
沸き増しすると、「昼停止」は取り消されます。

- 次のときは「昼停止」の設定ができません。
 - ・沸き増しスイッチで沸き増し中
 - ・午後11時～午前6時の間
 - ・沸き上げ休止中(P.42)
- 給湯機を一定期間使わないときは、1日ごとに沸き上げ休止することができます。(P.42)

設定を変える (つづき)

ダブルピークカット設定

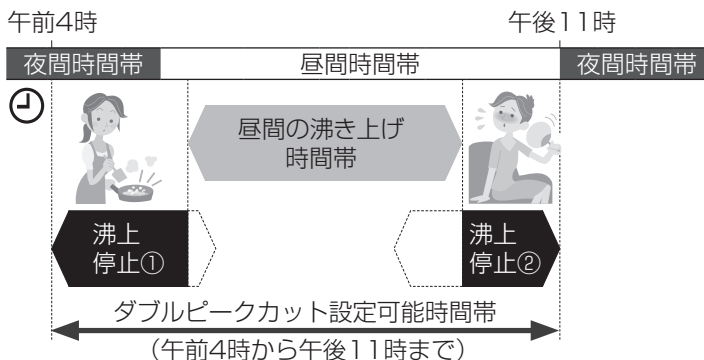
【リモコン】で操作する

ダブルピークカットとは、ピークカットを2つ設定することです。

電気使用量の多い時間帯に沸き上げをせずに、消費電力量を減らしたいときにピークカット設定をします。

毎日午前4時から午後11時までの間で、2つの時間帯を設定できます。

- 昼間の沸き上げ時間帯は、ピークカット設定していても沸き上げを行います。(P.26)
- 右図の「沸上停止①」と「沸上停止②」の時間帯には沸き上げを行いません。



1 **メニュー/戻る** を押す

メニュー の「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す

メニュー リモコン設定

ふろ予約 追いだし開始 浴室モニター

沸き上げ設定 その他

決定で開始

2 ▲▼で「ダブルピークカット設定」を選び **決定** を押す

沸き上げ設定

沸き上げモード

ダブルピークカット設定

休止設定

決定で設定画面へ

3 1つめ、または2つめを設定できます。

<1つめの時間帯を設定する場合>

▲▼で「設定1」を選び **決定** で進める

ダブルピークカット設定

設定1 なし

設定2 なし

終了

決定で選択

● お買い上げ時の設定

- 設定1：なし
- 設定2：なし

ダブルピークカット設定

ピークカット機能を設定します。

決定で開始

4 ▲▼◀▶で開始時刻と終了時刻を合わせ **決定** で進める

設定1

6:00~ 8:00

決定で次へ

- 1時間単位で設定できます。
- ▲▼を押し続けると早送りします。
- 設定可能時間帯：午前4時から午後11時まで

<2つめの時間帯を設定する場合>

5 ▲▼で「設定2」を選び **決定** で進める

ダブルピークカット設定

設定1 6時~ 8時

設定2 なし

終了

決定で選択

- 手順4と同様に時刻を設定します。
- 2つめの時間帯を設定しないときは、「終了」を選びます。

6 ▲▼で「終了」を選び **決定** を押す

ダブルピークカット設定

設定1 6時~ 8時

設定2 13時~ 17時

終了

決定で終了

ピークカット機能を設定しました。昼間の沸き上げ設定時間帯は沸き上げを行います。

- 設定時刻になると「ピークカット」が表示されます。「昼停止」と同時に設定すると「昼停止」が表示されます



ピークカット設定の変更

(「設定1」を変更する場合)

手順3の後、

▲▼で「変更」を選び **決定** を押す

設定1

変更

取消

決定で設定画面へ

▲▼◀▶で開始時刻と終了時刻を合わせ **決定** で進める

設定1

6:00~ 8:00

決定で次へ

ピークカット設定の取り消し

(「設定1」を取り消す場合)

手順3の後、

▲▼で「取消」を選び **決定** で進める

設定1

変更

取消

決定で取消

お知らせ

- 設定1と設定2はそれぞれ独立して設定できます。時間帯が重なっている場合、連続している場合も有効です。
- 「ピークカット」を設定した時間帯でも **沸き増し** を押すと、沸き増しできます。(P.24)
- 沸き増しが終了すると、「ピークカット」に戻ります。
- ピークカット設定した時間帯には自動での沸き上げを行いません(毎日)。お湯の使いかたによっては、湯切れする場合があります。残湯量を確認しながら、早めに沸き増しを行ってください。

ピークシフト設定

【台所リモコン】で操作する

朝方の電気使用量が多い時間帯を避けるため、夜間時間帯の沸き上げ開始時刻をずらすことができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す

メニュー	リモコン設定
ふろ予約	追いだし開始
浴室モニター	沸き上げ設定
その他	

 [決定]で開始
- 2 ▲▼で「ピークシフト設定」を選び **決定** を押す

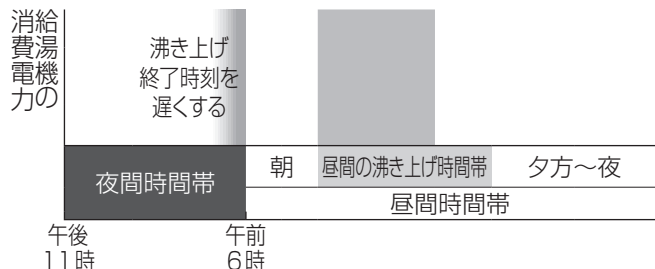
沸き上げ設定
昼停止設定
ピークセーブ設定
ピークシフト設定

 [決定]で設定画面へ
- 3 ▲▼で設定を選び **決定** を押す

ピークシフト設定
入
切

 [決定]で完了
 - ・入：沸き上げ終了時刻を遅くする（お買い上げ時の設定）
 - ・切：沸き上げ開始時刻を早くする

■ピークシフト設定「入」（お買い上げ時の設定）



■ピークシフト設定「切」



ピークセーブ設定

【台所リモコン】で操作する

電気使用量のピークを下げ、少ない消費電力で時間をかけて沸き上げます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す

メニュー	リモコン設定
ふろ予約	追いだし開始
浴室モニター	沸き上げ設定
その他	

 [決定]で開始
- 2 ▲▼で「ピークセーブ設定」を選び **決定** を押す

沸き上げ設定
休止設定
昼停止設定
ピークセーブ設定

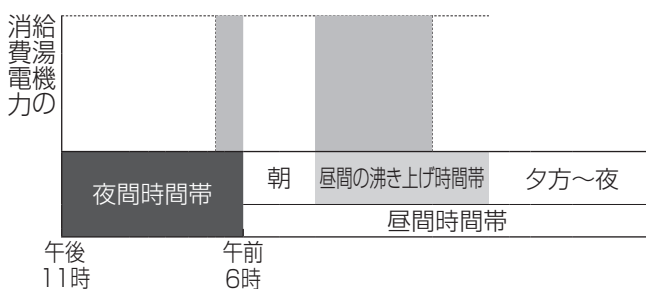
 [決定]で設定画面へ
- 3 ▲▼で設定を選び **決定** を押す

ピークセーブ設定
入
切

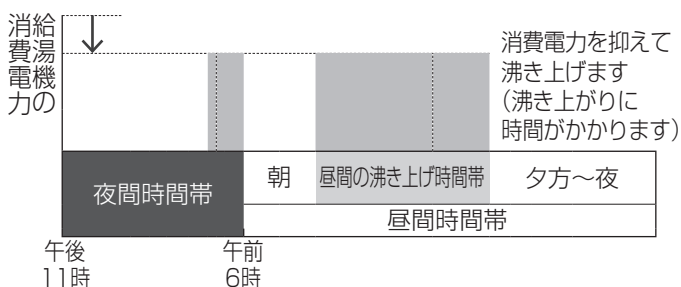
 [決定]で完了
 - ・入：ピークセーブが働きます
 - ・切：ピークセーブは働きません（お買い上げ時の設定）

- ピークセーブ設定すると、図のように少ない消費電力で沸かすため、沸き上がりに時間がかかります。
- 湯切れするおそれがあるときは、早めの沸き増しを行ってください。
- 夏場など外気温が高い場合は、少ない消費電力で沸き上げを行うため、ピークセーブ機能が働かない場合があります。

■ピークセーブ設定「切」（お買い上げ時の設定）



■ピークセーブ設定「入」



設定を変える

設定を変える (つづき)

お湯はりサポート

浴室リモコン で操作する

学習機能により、ヒートポンプの沸かしたてのお湯をタンクのお湯と一緒に使うことで、効率の良いお湯はりを行います。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「お湯はりサポート設定」を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で下記の設定のいずれかを選び **決定** を押す
 - ・入(お買い上げ時の設定)
 - ・切

●「入」のとき、浴室リモコンに **サポート** が表示されます。

■ 次の場合は、お湯はりサポートを行いません

- お湯はりサポートを「切」に設定しているとき。
- 学習機能により、給湯機が不要と判断したとき。
- 「沸き上げ休止」、「昼停止」、「ピークカット」を設定しているとき。(P.31、32、42)
- 沸き上げ中のとき。
- タンクにお湯がないとき。
- 浴そうに残り湯がある場合。
- ふろ自動運転でふろ設定温度を「水」にしているとき。(P.17)

手動配管洗浄

浴室リモコン で操作する

設定温度のお湯を約10L流し、ふろ配管に残った湯水を洗い流します。浴そうにお湯がないときに行ってください。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「手動配管洗浄」を選び **決定** を押す

中止するとき **決定** を押す

自動配管洗浄設定

浴室リモコン で操作する

自動配管洗浄(P.38)の設定を切ることができません。ふろ配管を清潔に保つため、自動配管洗浄「入」でのご使用をおすすめします。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「自動配管洗浄設定」を選び **決定** を押す
 - ・入：
浴そうの排水後に、自動で配管洗浄を行います。(お買い上げ時の設定)
 - ・切：
行いません。

エコナビ設定

浴室リモコンで操作する

エコナビ保温(P.18)の設定を切ることができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」を
選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「エコナビ設定」を
選び **決定** を押す
 - ・入：人がいないとき、浴そうの湯温変化を学習して最適な間隔で保温します。(お買い上げ時の設定)
 - ・切：15分ごとに湯温チェックを行い保温します。

入室サイン設定

台所リモコンで操作する

浴室内に人がいるとき、台所リモコンに**入室中**と表示してお知らせします。(浴室リモコンのひとセンサーが入退室を検知します)

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「入室サイン設定」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で「入室サイン入切
 設定」を選び **決定** を押す
- 4 ▲▼で「入」を選び
決定 を押す
 - お買い上げ時の設定は「入」です。

ふろ凍結予防設定

浴室リモコンで操作する

ふろ凍結予防運転(P.46)の設定を切ることができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」を
選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「ふろ凍結予防設
 定」を選び
決定 を押す
 - ・する：
自動でふろ凍結予防運転を行います。(お買い上げ時の設定)
 - ・しない：
「しない」に設定しても貯湯ユニットが凍結する温度になると、ポンプが作動することがあります。

退室判定時間設定

台所リモコンで操作する

浴室リモコンのひとセンサーが人の退室を検知した後、台所リモコンに**入室中**を表示し続ける時間を変えることができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「入室サイン設定」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で「退室判定時間設定」
を選び **決定** を押す
- 4 ▲▼で時間を選び
決定 を押す
 - 5～30分(5分刻み)で設定できます。
 - お買い上げ時の設定は「5分」です。

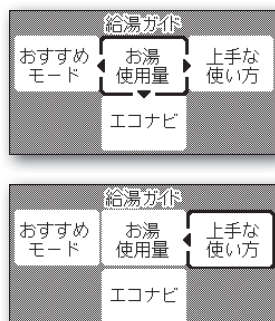
「給湯ガイド」を見る

給湯についての便利な情報や、使いかたのアドバイスなどを表示します。

台所で給湯ガイドを見る

台所リモコン で操作する

- 1 給湯ガイド を押す
- 2 ▲▼◀▶で確認したいガイドを選び
決定 を押す



浴室で給湯ガイドを見る

浴室リモコン で操作する

- 1 メニュー/戻る を押す
メニュー の「給湯ガイド」
を選び 決定 を押す
- 2 ▲▼◀▶で確認したいガイドを選び
決定 を押す



エコナビ

エコナビによるおふろの保温(追いだき)の節約回数を目安として表示します。



項目	
本日	● 本日の節約回数を表示します。
前日	● 前日の節約回数を表示します。
週間	● 前日までの1週間の節約回数を表示します。
累計	● 累計表示には当日の節約回数を含みます。 ● 累計表示は9999回を超えると0回に戻ります。

- 停電したときは、節約回数が少なく表示される場合があります。

おすすめモード

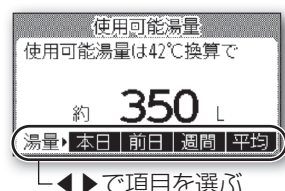
日常のお湯の使用量を学習して、「我が家」に合った最適な沸き上げモードを表示します。

表示例	
	● ガイドに従って沸き上げモードを設定できます。(P.25) ● 季節の変わり目などでお湯の使用量が変わると、右の表示が出てことがあります。 ● 給湯ガイドの「おすすめモード」を確認し、表示された沸き上げモード「おまかせ節約」または「おまかせ」に変更することをおすすめします。

- 使用開始から7日間は、「現在、学習中です…」と表示が出ます。学習が完了するまで、そのままお使いください。湯切れしそうな場合は、早めに沸き増しをしてお使いください。(P.24)

お湯使用量

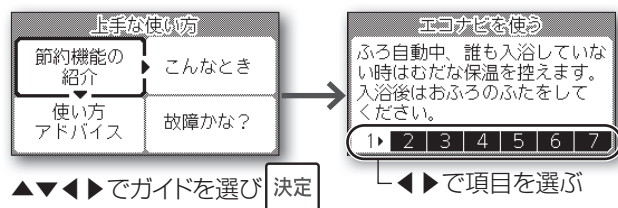
使える湯量や使った湯量の目安を表示します。



項目	
使用可能湯量	● 表示される数値は目安です。(P.24) ● 使用可能湯量が多くても、ふろ自動や追いだきに時間がかかることがあります。(P.16、20)
本日の使用湯量	● 使用湯量には、追いだきや保温にお湯を使った分も含まれます。 ● 自動配管洗浄(P.38)や凍結予防(P.46)でもお湯を使います。 ● 混合水栓の「水側」やお湯側でも湯温を「水」で使用した分、「さし水」運転で使用した分は使用湯量に含まれません。 ● 使用湯量は、0時00分から23時59分までの数値です。(0時00分に0Lになります)
前日の使用湯量	
1週間の使用湯量	● 1週間の使用パターンが表示されます。
平均使用湯量	● 1日当たりの平均使用湯量が表示されます。

- お湯の使用量は42℃に換算した湯量で表示します。このため、表示がタンクの容量を超える場合があります。

上手な使い方 節約機能の紹介やお手入れの方法など、よくあるお問い合わせの内容をリモコンで見ることができます。



▲▼◀▶でガイドを選び	◀▶で項目を選ぶ		参照ページ	◀▶で項目を選ぶ	参照ページ
節約機能の紹介	1	エコナビを使う	P.18	5	おふろの保温時間を変える
	2	ピークカット機能を使う	P.32	6	給湯、おふろの温度を変える
	3	昼のみ沸き上げ設定を使う	P.25	7	早めにリモコンを消灯する
	4	おふろの自動たし湯をやめる	P.30		
使い方アドバイス	1	浴そうフィルターのお手入れ	P.38	4	昼のみ沸き上げ設定を使う
	2	浴そうやタイルが青くなった	P.10	5	追いだきに時間がかかる
	3	お湯の温度が低い	P.15		
こんなとき	1	断水したとき①	P.45	5	凍結のおそれがあるとき①
	2	断水したとき②	P.45	6	凍結のおそれがあるとき②
	3	一定期間使わないとき	P.42、43	7	H表示、F表示が出たとき※ ¹
	4	停電のとき	P.46		
故障かな？	1	浴そうに勝手に湯・水が出る	P.38、46	5	タンクや室外機から水が出る※ ²
	2	自動配管洗浄をしない	P.38	6	水圧が低い
	3	追いだきしても熱くならない①	P.38	7	お湯を出したいのに水が出る
	4	追いだきしても熱くならない②	P.20、24	8	使用湯量表示が実際と異なる

※¹ サービス店TELは、登録している場合にのみ表示されます。(浴室リモコンには表示されません)

※² ヒートポンプユニット(P.11)を「室外機」と表示します。

お手入れする

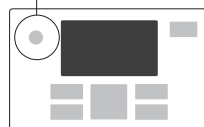
日常のお手入れ

リモコン

からぶきまたは水ぶきする

- ひどい汚れは台所用(中性)洗剤を薄めて布に含ませ、ふいてください。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤は使わないでください。(変形・変色の原因となります)
- 直接、水をかけないでください。
- ひとセンサーを強くこすらないでください。

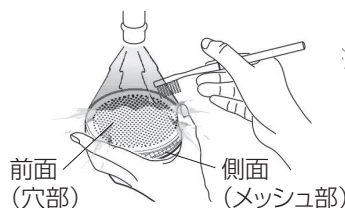
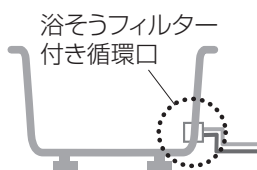
ひとセンサー



浴そうフィルター

取りはずして水洗いする

目詰まりすると、追いだきをしてもお湯が熱くなりません。浴そうフィルターと循環口はこまめに掃除してください。



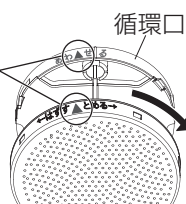
循環口に付いている汚れは流し洗います

取りはずし方



取り付け方

▲印を合わせ
右に回して
確実に固定
する



- 浴そうフィルターの前面(穴部)と側面(メッシュ部)の裏表に付いている汚れを、歯ブラシなどを使って洗ってください。
- 浴そうフィルターをはずした内側の循環口に付いている汚れは、シャワーなどを使って流し洗いしてください。
- 掃除後の浴そうフィルターは確実に取り付けてください。

ふろ配管

浴そうのお湯を排水するたびに自動で配管を洗浄します

ふろ配管を清潔に保つため、自動配管洗浄「入」でのご使用をおすすめします

■ 自動配管洗浄

ふろ自動 運転の後に、浴そうのお湯を排水すると、ふろ配管に残った湯水を流して自動洗浄します。

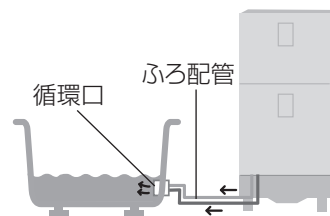
- 排水中、循環口の上付近までお湯が減ると、約2分後に約10Lのお湯を流して自動洗浄します。
- お買い上げ時、「自動配管洗浄設定」は「入」に設定されています。設定を「切」にしたいとき→(P.34)
- 浴そうのお湯を排水するときは、必ず「ふろ自動」が「切」になっていること(ランプ消灯)を確認してください。
お湯が自動で足されるため、ムダになります。ふろ自動運転中に排水したとき、混合水栓からお湯はりを行ったとき、停電復旧後は、自動配管洗浄しません。

おふろの配管内に残った湯水を洗い流しています。

ふろ自動

■ 自動配管洗浄が完了すると

- 「配管洗浄完了」を表示します。
- 「配管洗浄完了」表示は24時間後、自動的に消えます。ふろ自動運転・追いだき・高温たし湯・たし湯・さし水・洗浄運転・手動配管洗浄を行うときや停電復旧後も表示は消えます。



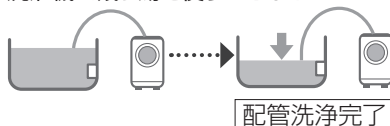
排水時に自動配管洗浄しないとき

- 浴そうの排水までに自動配管洗浄が完了している場合があります。「配管洗浄完了」が表示されます。



ふろ自動運転終了後、または、ふろ自動運転を切にして、入浴中に循環口付近までお湯が減ったとき

洗濯機で残り湯を使うときなど



残り湯を使用中、循環口付近までお湯が減ったとき

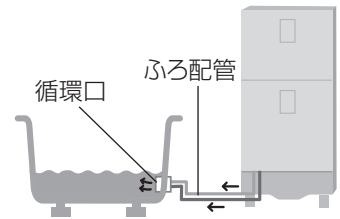
- 循環口付近までお湯が減った状態で、ふろ自動運転が終了したときは、自動配管洗浄しません。「配管洗浄完了」は表示されません

手動配管洗浄もできます

- 配管の洗浄は手動でも行うことができます。(P.34) 手動で行う場合は、浴そうにお湯がないことを確認してください。

お願い

- 給湯機の使い始めや一定期間使わなかった後にお湯はりすると、ふろ配管に付着した汚れが循環口から出てくる場合があります。また、長く使ってタンクや部品の接水部が汚れてくると、循環口からその汚れが出てくる場合もありますが、いずれも異常ではありません。
- 長くお使いいただくために、「年に2～3回タンク(貯湯ユニット内)をお手入れ」(下記)、「6か月に1回ふろ配管を洗浄」(P.40)、「年に2～3回の点検(逃し弁)」(P.41)を行ってください。
- ふろ配管のお湯・水はタンク内で給湯用のお湯と混ざることはありませんのでご安心ください。



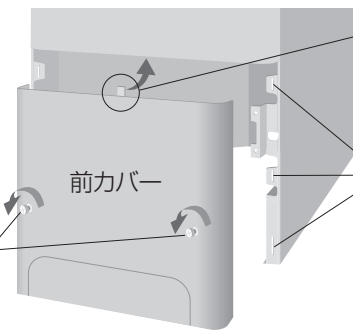
年に2～3回 タンク(貯湯ユニット内)をお手入れ

■ 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合

- 配管のお手入れや点検、水抜きをするとき(P.40、43)などは次の要領で前カバーを取りはずしてから行ってください。

取りはずし

ネジ(左右各1本)をゆるめて、前カバーを手前に引く。



取り付け

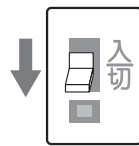
前カバー上部の突起を本体に差し込み、左右の穴(各3か所)に前カバーのツメを合わせてネジ止める。

※1 前カバーが金属製の場合、突起はありません

排水して底の湯あかを押し流す、給水口のストレーナー(フィルター)を掃除する

- 残湯量の表示目盛りが1つ以上減っているときに行ってください。(リモコン表示 )
(表示目盛りが全点灯のときは高温のお湯が出る場合があるため排水しないでください)

1 漏電しゃ断器を「切」にする



9 漏電しゃ断器を「入」にする



2 給水元栓を閉じる

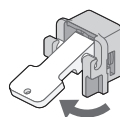


10 混合水栓のお湯側を開き、水が出るのを確認して閉じる

- 空気の混じった水(お湯)が出ることがあります。



3 逃し弁レバーを上げる



4 排水栓を開き、約2分間排水後、閉じる

- 熱いお湯が出ることがあります。
- 排水中は逃し弁レバーを下げないでください。



5 給水口のストレーナーをはずす

- 内部配管の水が約30秒間(最大200 ml程度)出てきます。

6 ストレーナー(フィルター)を水洗いして取り付ける

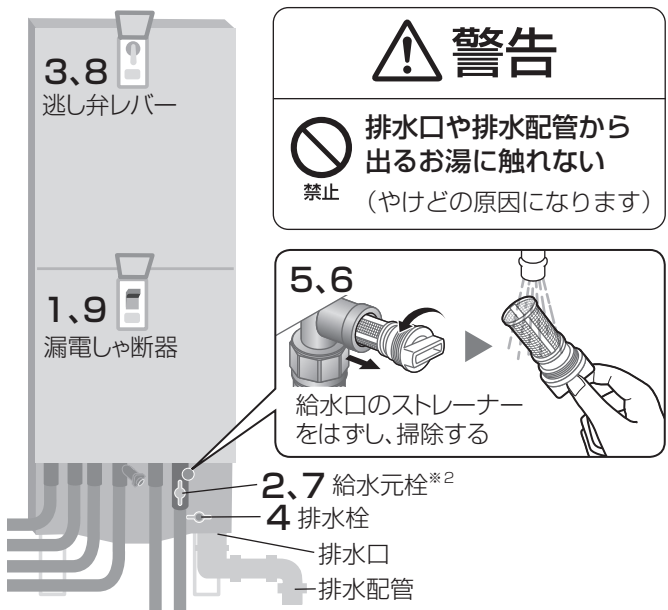
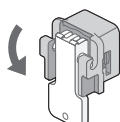
- ごみや異物などが詰まっていると、故障の原因になります。

7 給水元栓を開けて、タンクを満水にする

- 排水配管から水がはじいたら満水です。



8 逃し弁レバーを下げる



※2 給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げの販売店にご確認ください。
(配管工事により、取付位置が異なる場合があります)

お手入れする (つづき)

6か月に1回 ふろ配管を洗浄

洗浄剤を使ってふろ配管を洗浄する

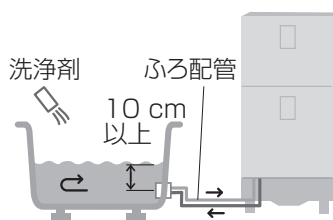
- 別売品の「ふろ循環回路洗浄剤」
(品番：AD-3755A-2AH)をおすすめします。
- 市販の給湯機用ふろ釜洗い洗剤(1つ穴用)もご使用いただけます。
- 汚れがひどい場合は下記の洗浄運転を繰り返し行ってください。

① ふろ配管を洗う

浴室リモコン で操作する

準備

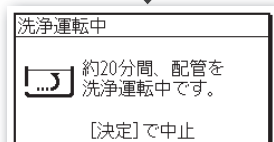
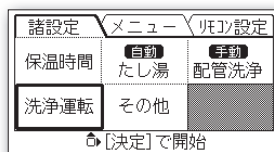
- 浴そうに十分お湯があるか確認する。(循環口から10 cm以上)(残り湯も利用できます)
- 浴そうに洗浄剤を入れる。



1

メニュー/戻る を押す
諸設定 の「洗浄運転」を選び 決定 を押す

- 約20分で自動的に完了します。



中止するとき

もう一度 決定 を押す

② ふろ配管をすすぐ

浴室リモコン で操作する

準備

- 浴そうの水をすべて抜く。
- 再び、浴そうに水をためる。(循環口から10 cm以上)

1

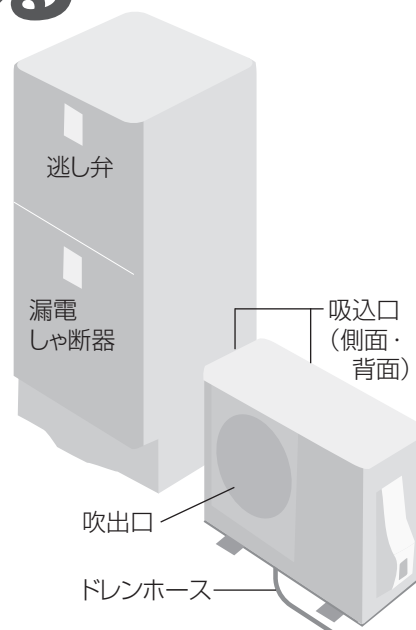
「① ふろ配管を洗う」の手順 1 を行う

2

浴そうの水を抜き、浴そうと浴そうフィルターを掃除する

点検する

安心してお使いいただくために点検を行ってください。



図は一般地向けに説明しています。



警告



近くにガス類の容器や引火物を置かない

(電気部品のスパークにより引火し、発火の原因になります)

年に2～3回の点検

漏電しゃ断器

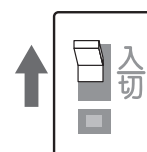
< 作動点検をする >

- 1 通電中に漏電しゃ断器のふたを開けて、テストボタンを押す



- 2 漏電しゃ断器が「切」になるか確認する

- 3 漏電しゃ断器を「入」にし、ふたを閉じる



お願い

- 点検により作動不具合や水漏れするときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

日常の点検

■ 床面に水漏れしていませんか？

(集合住宅では階下へ被害が及ぶおそれがあります)

■ 吸込口や吹出口をふさいでいませんか？

(能力低下や故障の原因になります)

■ ドレンホース(一般地向けのみ)や排水経路が、ごみ、凍結などで詰まっていますか？

(ヒートポンプユニットからの水漏れの原因になります)

お願い

- 不具合や水漏れするときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ

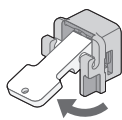
- 沸き上げ運転中は、逃し弁レバーが下がっていても、水からお湯になるときの膨張水が、排水口や排水配管から排水されます。(故障ではありません)

逃し弁

■ 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合
前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.39)

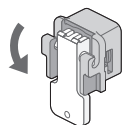
<作動点検をする>

1 ふたを開け、逃し弁レバーを上げる



2 排水口または排水配管からお湯が出ることを確認する(約10秒間)

3 逃し弁レバーを下げ、お湯が止まることを確認する



4 ふたを閉じる

<水漏れ点検をする>

1 台所リモコンに「沸上中」が表示されていないことを確認する

2 排水口または排水配管からお湯が出ていないか確認する

- お湯が出ているときは
→ 逃し弁レバーを数回上下に動かし、お湯が止まるかを確認する。



警告



排水口や排水配管から出る
お湯に触れない

禁止

(やけどの原因になります)

お願い

- 逃し弁の作動点検中は、お湯を使用しないでください。
(混合水栓やシャワーから熱いお湯が出る場合があります)

定期点検(推奨)について



ヒートポンプ給湯機を長期間にわたり、安全で快適にご使用いただくために、逃し弁、減圧弁など3年に1回程度の専門技術者による定期点検整備をおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては(公社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検を3年に1回程度行うことをおすすめします。お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

逃し弁、減圧弁など、設置条件、使用条件、特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な点検が必要です。

また、お湯の逆流を防止するための逆流防止装置が正常に機能していることを確認する必要があります。長期間(10年程度)使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年となっており、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

■ 定期点検整備について

- お申込み先 お買い上げの販売店
- 点検整備内容 安全性の点検整備・システム機能の点検整備(配管など)・消耗・劣化しやすい部品の交換

■ 定期点検整備の主な内容

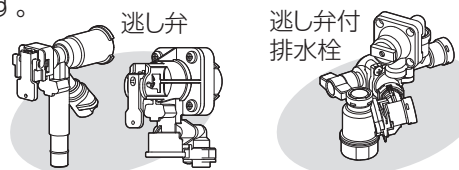
項 目	点検整備の内容
据付状態の点検	・配管接続部の水漏れ確認 ・配管保温材の確認 ・電気絶縁チェック ・設置面の確認
機能部品の点検	・逃し弁の水漏れ確認 ・ポンプの点検 ・減圧弁の点検 ・逃し弁付排水栓の点検 ・電気部品(配線、導通)動作の確認
清掃・整備	・タンク下部のスケール沈殿物の排出 ・ストレーナー(フィルター)の清掃 ・機能部品の清掃 ・ドレンの清掃

消耗部品について

逃し弁、減圧弁は消耗部品です。使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。点検の結果、部品交換が必要な場合、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

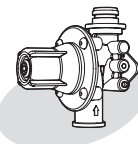
● 逃し弁、逃し弁付排水栓

使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



● 減圧弁

使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム(ゴム製)や弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



一定期間使わないとき

旅行などで一定期間使わないときは、沸き上げを休止できます。1か月以上使わないときや一定期間電源を切る場合は、給湯機の水抜きをしてください。ヒートポンプユニットやタンク、配管の凍結破損、水漏れを防ぐとともにタンク内を清潔に保ちます。電源を切った状態でタンク内のお湯を長く放置すると、故障の原因になります。

1～15日使わないとき(沸き上げを休止する)

使わない期間が30日以内で、水抜きをしない場合は、電源を切らずに15日間の休止設定をしてください。

休止設定

【台所リモコン】で操作する

- 1 **メニュー/戻る** を押す
【メニュー】の「沸き上げ設定」を選び、**決定** を押す
- 2 ▲▼で「休止設定」を選び、**決定** を押す
- 3 **決定** を押す
- 4 ▲▼で「休止期間」を設定し、**決定** を押す
 - 休止期間は1～15日間の設定ができます。
 - 1日間に設定すると、当日の24時まで沸き上げを休止します。

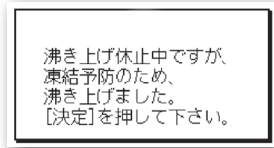
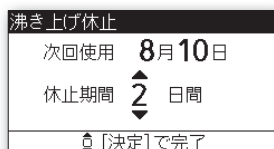
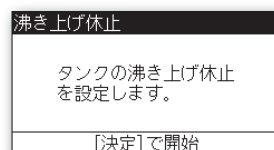
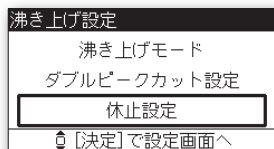
休止期間を変えるとき

手順2の後、「期間変更」を選び、**決定** を押す
休止期間を変更して、**決定** を押す

中止するとき

手順2の後、「休止取消」を選び、**決定** を押す

- 休止中でも外気温が低い場合は、ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため沸き上げ運転をします。
- 沸き上げ休止が解除される当日は、必要な湯量を確保できていないために昼間の沸き上げ時間帯以外に沸き上げを行う場合があります。



1か月(31日)以上使わないとき、一定期

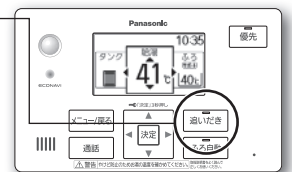
水抜きは、0℃以下の環境下では排水中に凍結するおそれがあるため、0℃を超える環境下で実施してください。

① ふろ配管の水抜き

【浴室リモコン】で操作する

浴そうを空にしてふろ配管に残った水を抜きます。

- 1 浴そうを空にする
- 2 **追いだき** を押す
 - ランプが点灯します。(赤)
 - ポンプが作動し、配管に残っている水を浴そうに排水します。
- 3 循環口から水が出なくなったら再度 **追いだき** を押し、停止する(ランプ消灯)



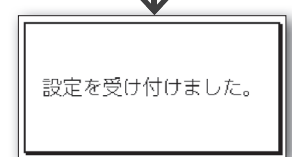
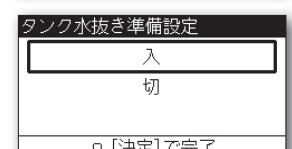
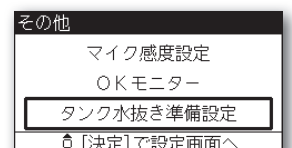
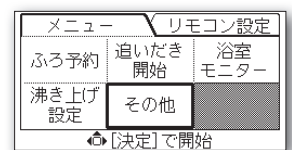
浴室リモコン

② タンクの水抜き準備をする

【台所リモコン】で操作する

電源を切る直前に操作してください。10分後、タンク水抜き準備設定は解除されます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
【メニュー】の「その他」を選び、**決定** を押す
- 2 ▲▼で「タンク水抜き準備設定」を選び、**決定** を押す
- 3 ▲▼で「入」を選び、**決定** を押す



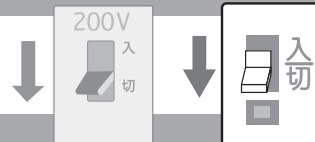
- 10分経過すると設定が解除されますので、再度「1 **メニュー/戻る** を押す」から操作してください。

間電源を切っておくとき(給湯機の水抜きをする)

③ 電源を切る

ブレーカー 漏電しゃ断器

1 配線用しゃ断器(ブレーカー)と漏電しゃ断器を「切」にする

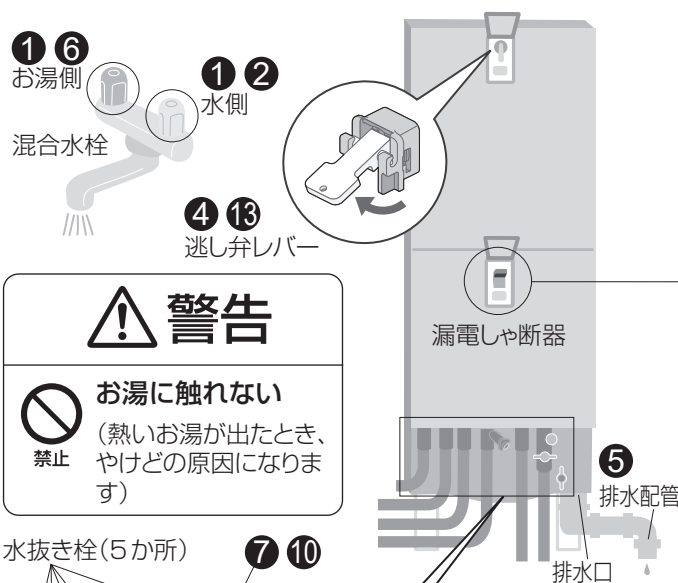


④ 貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水抜きをする

■ 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合、前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.39)

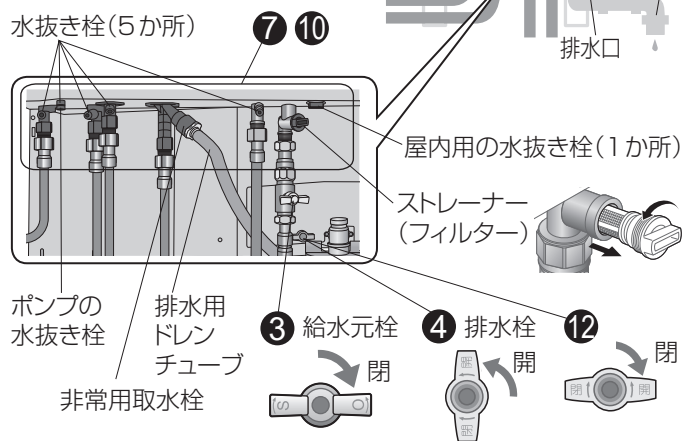
1 貯湯ユニット内のお湯をすべて排水する

- ① 混合水栓のお湯側と水側を開き、お湯が出なくなるまで出す。必ず水を混ぜてぬるめのお湯にしてから排水してください。(タンク内を水にする)
 - ② 混合水栓の水側を閉じる。
 - ③ 給水元栓※¹を閉じる。
 - ④ 逃し弁レバーを上げ、排水栓を開く。排水中は逃し弁レバーを下げない。(タンク破損のおそれ)
 - ⑤ 排水口や排水配管から、水が流れ出なくなったことを確認する。(約 80分かかります)
 - ⑥ 混合水栓のお湯側を閉じる。
- ※ 1 給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げの販売店にご確認ください。(配管工事により、取付位置が異なる場合があります)



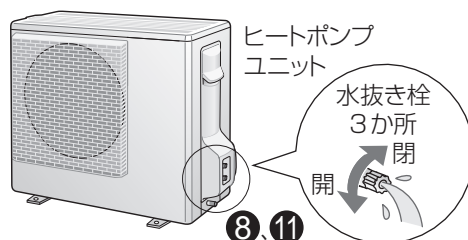
2 配管などに残った水を抜く

- すべての栓から水が出るため、周囲に防水処置をしてください。
- ⑦ 貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を左に回してゆるめ、ストレーナーははずす。屋内用の水抜き栓 1 か所ははずす。(右図参照)
- ⑧ ヒートポンプユニットの水抜き栓(3か所)をゆるめる。(水抜き栓ははずさないでください)
 - 配管途中に水抜きバルブ※²が取り付けられているときは、すべて開いてください。
 - ※ 2 水抜きバルブは、工事により取付位置が異なります。不明なときはお買い上げの販売店にご確認ください。
- ⑨ 上記 ④⑦⑧ の栓をすべて開いたまま、水が出なくなるまで放置する。(約 1 時間)
 - 水が出ないからといって栓を閉じると、他の栓から水が出なくなり、冬場の凍結による破損の原因になります。



3 排水口や排水配管から水が出なくなったら

- ⑩ 貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を閉じ、ストレーナーと屋内用の水抜き栓 1 か所を取り付ける。(右上図参照)
 - 非常用取水栓は、強く締めすぎないように注意してください。(手で開けられなくなります)
- ⑪ ヒートポンプユニットの水抜き栓(3か所)を閉じる。
 - 配管途中の水抜きバルブを開いたときは閉じてください。
- ⑫ 排水栓を最後に閉じる。(故障の防止)
- ⑬ 逃し弁レバーを下げる。
 - 凍結予防ヒーターを取り付けている場合は、凍結予防ヒーターの電源プラグを抜いてください。(P.47)



再びご使用になるときは、「タンクのお湯(水)を抜いたとき」(P.44)に従ってください。

一定期間使わないとき

タンクのお湯(水)を抜いたとき

給湯機のお湯(水)を抜いたときは、給湯機を満水にして配管内の空気抜きの後、水を沸き上げる必要があります。給湯機を満水にしないと故障の原因となり、使用できません。

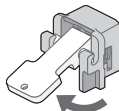
① 給湯機を満水にする

- 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合、前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.39)

1 排水栓が閉じていることを確認する



2 逃し弁レバーを上げる



3 給水元栓*を開ける

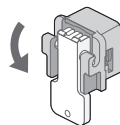
※給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合は、お買い上げの販売店にご確認ください。(配管工事により、取付位置が異なる場合があります)



4 排水口または排水配管から、水が出ることを確認する

- 連続で水が出始めたら満水。約30～40分かかります。

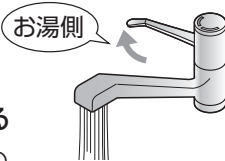
5 逃し弁レバーを下げる



② 配管内の空気を抜く

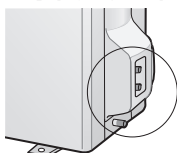
6 <混合水栓からの空気抜き>
混合水栓のお湯側を開き、空気まじりの水が出なくなり、連続的に水が出始めたら閉じる

- お湯の出しかたは混合水栓のタイプで異なります。



7 <ヒートポンプユニットからの空気抜き>
水抜き栓(3か所)を開き、空気まじりの水が出なくなり、連続的に水が出始めたら、水抜き栓(3か所)を閉じる

- 1回転以上回して、1分以上水が出ることを確認してください。水抜き栓は抜かないでください。

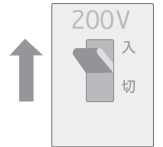


水抜き栓(3か所)
ヒートポンプユニット

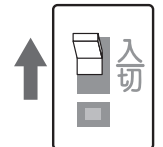
- ヒートポンプユニット内の「空気抜き」を確実にしないと、ヒートポンプ給湯機が故障する原因となります。

③ 電源を入れる

8 配線用しゃ断器(ブレーカー)を「入」にする



9 漏電しゃ断器を「入」にする



お願い

- 必ず、タンクを満水にしてください。ヒートポンプユニットの空気抜きが完了していることを確認してから電源を入れてください。

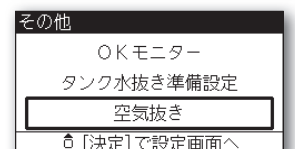
④ 再度、配管内の空気を抜く

台所リモコン で操作する

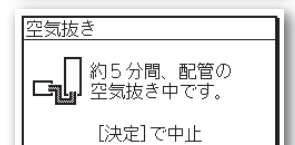
10 メニュー/戻る を押す
メニュー の「その他」を選び 決定 を押す



11 ▲▼で「空気抜き」を選び、決定 を押す



- 約5分で終了します



12 混合水栓のお湯側を開く。
空気まじりの水が出なくなり、連続的に水が出始めたら閉じる

- タンク全量沸き上がるのは翌朝です。
- すぐに使いたいときは、続けて 沸き増し を押し、タンクにお湯がたまるのをお待ちください。(P.24)



断水したとき

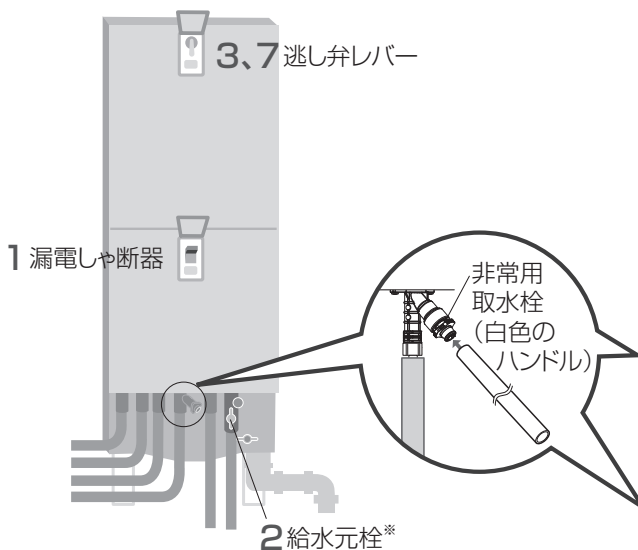


お湯に触れない

(熱いお湯が出たとき、
やけどの原因になります)

給水元栓を閉じる

- 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合、前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.39)
- 給水元栓を閉じてください。給水元栓を閉じないと、タンクのお湯や水が濁る場合があります。また、断水復旧後にお湯や水の出る勢いが小さくなる場合があります。
- 断水中は、給湯やお湯はり、追いだきができません。



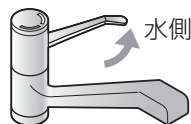
※給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げの販売店にご確認ください。
(配管工事により、取り付け位置が異なる場合があります)

復旧したとき

復旧後は、お湯を使う前に断水中配管にたまった汚れた水を出してからお使いください。

1 混合水栓の水側を開けて、水を十分出す

- 汚れた水が出なくなれば、閉じる。



2 給水元栓を開ける

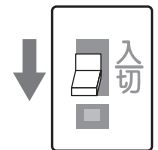
断水中にタンクのお湯を生活用水に使用した場合は、「タンクのお湯(水)を抜いたとき」(P.44)に従ってタンクを満水にしてください。

断水中、タンクの水を生活用水に使う

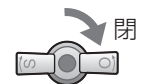
■ 必ず給水元栓を閉じてからお湯を出してください。水圧で非常用取水栓が故障し、お湯(水)が止められなくなる場合があります。

- 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合、前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.39)
- 市販のホースを接続して、タンクの水を生活用水として使えます。(飲用は避けてください)
- 断水中は蛇口が使えません。

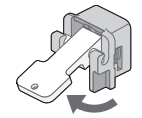
1 漏電しゃ断器を「切」にする



2 給水元栓*を閉じる



3 逃し弁レバーを上げる

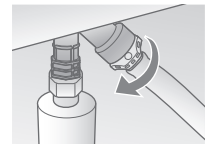


4 市販のホースを非常用取水栓に差し込む

- 推奨品：網入り水道用ホース(内径 15 mm)
- 排水用ドレンチューブ(P.43)が接続されている場合は、いったんはずしてホースを差し込む。

5 お湯(水)を出す

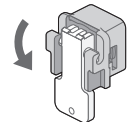
- ハンドルを持ち、左に回す。(ホースがはずれないよう注意する)
- お湯(水)を出している間は逃し弁レバーを下げない。(タンク破損のおそれ)



6 使用後は、お湯(水)を止める

- ハンドルを持ち、お湯が出なくなるまで右に回す。
- ハンドルは強く締めすぎないように注意する。(手で開けられなくなります)

7 逃し弁レバーを下げる



8 ホースを取りはずす

- ドレンチューブをはずした場合は、元通り取り付け。

凍結のおそれがあるとき

- 生活用水として、バケツなどにお湯(水)をすべて抜き取って、保管してください。
お湯は高温ですので耐熱温度 90℃ 以上のバケツなどを使ってください。
- タンクから生活用水を抜いた後、「貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水抜きをする」(P.43)の内容に従って操作し、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの内部配管に残った水を抜いてください。(凍結による故障の原因となります)

タンクのお湯(水)を抜いたとき／断水したとき



断水時の手順を動画でご覧いただけます。
内容は予告なく変更される場合があります。



停電したとき

蛇口からお湯(水)が出ます

- タンクのお湯は使えますが、温度調節できません。必ず湯温を確かめてからご使用ください。
 - ・飲用する場合は、一度沸騰させてください。
 - ・高温のお湯が出る場合があります。冬場など水温の低いときは、湯温が低くなる場合があります。
 - ・タンクのお湯がなくなった後は水が出ます。
- リモコンを使ってお湯はりや保温などはできません。



- 停電が15日間以上続く場合は、「1か月(31日)以上使わないとき、一定期間電源を切っておくとき(給湯機の水抜きをする)」(P.42、43)に従って水抜きをしてください。
タンク内を清潔に保ち、給湯機が故障する原因を取り除きます。

復旧したとき

リモコンの決定スイッチを押すと、停電前の画面表示に戻ります。(給湯機の時刻や沸き上げモードは記憶されています)

- リモコンの時刻表示が正しいことを確かめてからお使いください。
時刻がずれているときは合わせてください。
(P.28) (思わぬ電気料金がかかることがあります)



停電時の手順を動画で
ご覧いただけます。
内容は予告なく変更される
場合があります。



凍結のおそれがある

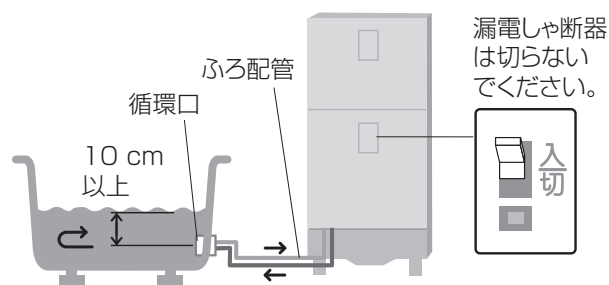
外気温が0℃以下になると配管が凍結するおそれがあります。

寒冷地だけでなく、一般地でも凍結する場合がありますので、凍結のおそれがあるときは、必ず凍結予防・凍結防止を行ってください。

ふろ配管の凍結予防をする

外気温が0℃以下になると、ふろ配管が凍結するおそれがあります。浴そうにお湯を残しておくと、ふろ配管の凍結予防運転を自動で行います。

1 浴そうにお湯や水を残したままにする (循環口から10 cm以上)



- お湯や水がない場合は、水をはってください。
(水がないと循環口から水が出たり、30分おきに作動音がします)
- ふろ凍結予防運転中は、浴室リモコンの画面に表示が出ます。
- ふろ自動運転中も、ふろ凍結予防運転をすることがあります。
- 凍結予防運転中はポンプが作動し、音がします。

凍結予防のため、
おふろのポンプを
動かしています。

■ ふろ凍結予防運転とは

外気温が約3℃より低くなると、自動的にポンプが作動し、ふろ配管に浴そうのお湯(水)を循環させます。さらに外気温が低くなると、タンク内のお湯を使用して凍結予防します。このため使用湯量が増えます。(P.36)

■ ふろ凍結予防運転が自動で働くのを止めるとき

「ふろ凍結予防設定」を「しない」にする。(P.35)

- ふろ凍結予防設定を「しない」にしても、0℃以下になるとポンプが作動して、浴そうに水が出てくることがあります。

るとき

⚠ 注意



●凍結のおそれがあるときは漏電しゃ断器を切らない

(配管などが凍結して破損することがあるため、水漏れの原因になります)

禁止

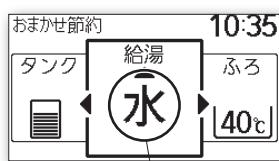
漏電しゃ断器を切るときは、水抜きをしてください。(P.42、43)

給水・給湯配管の凍結防止をする

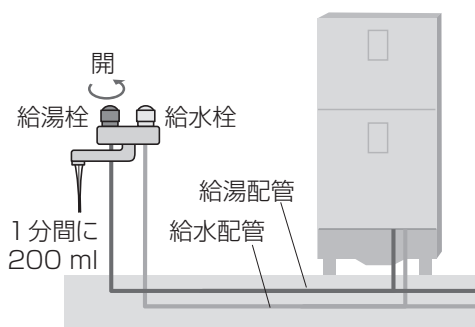
台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

凍結予防工事を行っていても、外気温が0℃以下になると配管が凍結することがあります。リモコンで湯温を「水」に設定して少量の水を流し続けてください。

- ▼で湯温を「水」に設定し
給湯栓を少し開いておく
(1分間に200ml程度)



水に設定



ヒートポンプ給湯機の凍結予防運転(自動運転)

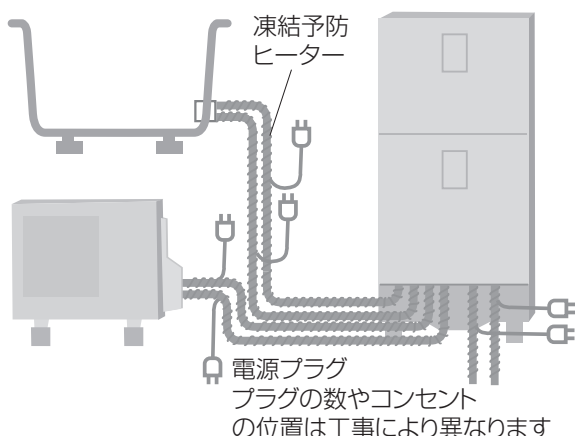
- 外気温が約3℃より低くなるとヒートポンプユニット配管の凍結予防のため、自動でポンプを作動させます。ポンプが作動しても配管温度が上がらないときは自動的に沸き上げ運転を行い、凍結を予防します。
- 漏電しゃ断器を切らないでください。
- 不凍水抜き栓による凍結予防工事をされている場合は、お買い上げの販売店に凍結予防方法を確認してください。
- ヒートポンプユニットの周囲に積雪などの障害物がある場合は取り除いてください。

凍結予防ヒーターを使う

冬場に外気温が0℃以下になる地域では、配管に断熱工事が施工されていても凍結のおそれがあります。各配管に市販の凍結予防ヒーターを巻いて、配管を加温することで凍結を予防してください。

凍結するおそれのない場合は、ヒーターは巻かれていません。不明なときはお買い上げの販売店にご確認ください。

- すべてのヒーターの電源プラグを
コンセントに差し込む



- 外気温が低くなると自動的に凍結予防ヒーターに通電して配管の凍結を予防します。
- 凍結のおそれがあるときは、すべての凍結予防ヒーターに通電してください。
- 停電中、凍結したときは停電復旧後、凍結予防ヒーターに通電して解冻します。
- 凍結するおそれのない季節は、電源プラグを抜いてください。
- 長期不在などで水抜きをしたときは、電源プラグを抜いてください。

お願い

- 配管は断熱材で覆われています。断熱材が破損していると凍結するおそれがあります。破損している場合や、配管が断熱材から露出している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？

こんなとき		ここをご確認ください
給湯	お湯が出ない	● 給水元栓が閉じている場合があります。→開いてください。(P.44) ● 断水している場合があります。→復旧したら処置をしてください。(P.45) ● 給水配管が凍結している場合があります。→凍結が解消するまでお待ちください。
	お湯の出が悪い	● ガス(石油)給湯機と比べると、若干お湯の出が弱くなります。 →水道の圧力を減圧して一定の水圧に調整しています。
		● リモコンの給湯温度を 50℃、55℃または 60℃に設定し、水と混ぜてご使用ください。(P.15) 混合水栓のタイプによっては、蛇口を全開にしてもお湯の出が悪いことがあります。
		● ふろ自動運転中など、給湯以外でお湯を使用中、または 2 か所以上でお湯を使うと、蛇口やシャワーから出るお湯の量が少なくなることがあります。 ● 貯湯ユニットの給水口のストレーナー(フィルター)にごみなどが詰まっている場合があります。 →「年に 2～3 回タンク(貯湯ユニット内)をお手入れ」(P.39)を参照し、ストレーナー(フィルター)の掃除をしてください。 ・掃除後もお湯の出が良くならない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
お湯の温度	お湯がぬるい (設定した温度にならない) 給湯・シャワーの湯温が 上がらない	● 給湯温度の表示は目安です。 ・配管の放熱により、設定温度よりも低くなることがあります。 ・タンク内の湯温が低いときは設定温度にならないことがあります。 ● 配管内に残っている水が出てくることがあります。 →お湯が出るまで、しばらくお待ちください。 ● サーモスタットタイプの混合水栓使用時に混合水栓側の設定温度まで上がらないときは、リモコン側の給湯温度を約 10℃高めに設定してください。(P.15) ● 1 か所のみ湯温がおかしいときは、混合水栓の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。 ● 混合水栓で湯側の量が少ないとき。 →リモコンに「給湯中表示」が出ていることを確認してください。(P.15)
	湯温が上下したり 水になったりする	● 2 か所以上でお湯を使用するなど、混合水栓からの湯量変動しているときに発生します。 ・お湯はり、たし湯、高温たし湯、給湯などを同時に行ったとき。 →自動たし湯の設定を「切」にすると、自動たし湯によるシャワーの湯量の変動が少なくなり、湯温が安定する場合があります。(P.30) ● シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したとき。 ● 沸き上げ中にお湯を出したとき。 ● 台所などで少ししかお湯を出していないとき。 →リモコンに「給湯中表示」が出ていることを確認してください。 →「給湯中表示」が出たり消えたりしているときは、湯温が上下します。(P.15) ● リモコンで温度設定を高温にしたときは、安全のため一時的にぬるいお湯が出ます。
ふろ(お湯はり)	ふろ湯量を 少なめに設定できない	● 浴そうが大きい場合や循環口の位置が高い場合、最少湯量を 100 L など少なめに設定できないことがあります。(P.17)
	「タンク残り湯少、」／ 「タンク湯切れ、」と 「ふろ自動待機中。」／ 「追いだき待機中。」 を交互に表示する	● タンクのお湯が足りないため、ふろ自動や追いだき運転がいったん停止しています。 →自動で沸き上げを開始しますが、この後もお湯をたくさん使うときは沸き増しスイッチを押してください。昼間沸き上げを停止設定にしているときやピークカット中は、自動で沸き上げを開始しません。(P.31、32) ● 沸き上げモードを「おまかせ節約」に設定している場合は、「おまかせ」にしてください。(P.25)
	お湯はり中、浴そうに お湯が入ったり、 止まったりする	● 故障ではありません。 湯温や湯量をチェックしながら、お湯はりします。

こんなとき	ここをご確認ください
お湯はり完了時刻が 予約した時刻とずれる	● 予約時刻より早くお湯はりが完了するようになっていますが、浴そうの残り湯の状態や水圧等の条件により前後します。
ふろ温度や湯量が 設定とずれる	● 設定したふろ温度、湯量の表示は目安です。浴そう内の温度は、配管の放熱や浴そうに冷やされて低くなることがあります。 ● お湯はり中に「ふろ自動」を入／切したとき、たし湯・高温たし湯・さし水をしたときは、ふろ温度が低くなったり、ふろ湯量が多くなったりすることがあります。 ● 残り湯が循環口より低い水位のとき、ふろ湯量が多くなったり、あふれたりすることがあります。 ● お湯はり完了前に入浴したり浴そうのお湯を使ったりすると、設定した湯温や湯量にならないことがあります。
ふろ湯量が いつもと違う	● 残り湯がある状態でお湯はりすると、ふろ湯量が多くなったり、あふれたりすることがあります。 ● 浴そうの栓がゆるんでいたたり、お湯はり開始の後で浴そうの栓をすると、ふろ湯量が少なくなることがあります。 ● リフォームなどで浴そうを入れ替えたときは、水位が変わることがあります。ふろ試運転が必要です。「浴そうの水位(湯はり量)を再調整する」(P.55)の手順に従って、ふろ試運転をしてください。
お湯はり(ふろ自動運転) が勝手に中止された	● 再度「ふろ自動」を押して、運転を再開してください。(P.16) 停電が約30分以上続くと、ふろ自動運転が中止されることがあります。
追いだきしても 熱くならない	● もっと熱くしたいときは、もう一度追いだきスイッチを押してください。(P.20) お湯の温度が設定温度よりも低いときは、追いだきスイッチを押しても、設定温度以上に熱くなりません。 ● 浴そうフィルターを掃除してください。(P.38) ● タンクのお湯が多くても、お湯が熱くないと追いだき時間がかかります。「沸き増し」をしてください。(P.24) ● 定量沸き上げ設定を「入」にしてください。(P.31)
追いだきやふろ保温に 時間がかかる	● タンクのお湯が熱くないと追いだきやふろ保温に時間がかかります。「沸き増し」をしてください。(P.24) ● ピークカット中や昼停止中は、沸き上げを行えないので追いだきに時間がかかる場合があります。「沸き増し」をしてください。(P.24) ● 定量沸き上げ設定を「入」にしてください。(P.31)
追いだきが 短時間で止まる	● 浴そうフィルターの掃除をしてください。(P.38) ● お湯が循環口から10 cm以上ない場合、追いだきできません。 約7分後に追いだきランプが消灯します。(P.20) ● 断水、給水元栓が閉じている、給水配管が凍結している場合などは、追いだきできません。(P.44～47) 復旧後は、たし湯をしてから追いだきしてください。
自動たし湯しない	● お湯が減ってもすぐに自動たし湯しないことがあります。 ● 「保温時間」を「0時間」に設定していませんか？(P.18) お湯はり完了後、ふろ自動運転は停止し、たし湯も行いません。 ● 「自動たし湯設定」を「切」に設定していませんか？(P.30)
高温たし湯できない	● 浴そうの循環口までお湯がないと、高温たし湯できません。(P.21)
高温たし湯をしても 熱い湯が出ない	● タンク内の湯温が低いときは、高温のお湯が出ません。(P.21)
循環口から 冷たい水が出る	● 開始後しばらくは、配管内に残っている水が出てくる場合があります。 (追いだきやたし湯、ふろ保温中) ● 外気温が低いとき、ポンプが作動して冷たい水が出てくる場合があります。 (凍結予防運転中)(P.46)

故障かな？ (つづき)

こんなとき		ここをご確認ください
ふろ(お湯はり)	人がいないのに保温している(エコナビ保温中)	●浴室内に人がいないときでも、浴そうの湯温が約1℃以上、下がると保温します。
	お湯の出が悪い(お湯はり時)	●浴そうフィルターが目詰まりしている場合があります。 →水洗いしてください。(P.38) ●貯湯ユニットの給水口のストレーナー(フィルター)にごみなどが詰まっている場合があります。 →「年に2～3回タンク(貯湯ユニット内)をお手入れ」(P.39)を参照し、ストレーナー(フィルター)の掃除をしてください。
	お湯が出ない	●ふろ配管が凍結している場合があります。 →凍結が解消するまでお待ちください。
リモコン	リモコンが点灯しない	●配線用しゃ断器(ブレーカー)または漏電しゃ断器が「切」になっていませんか？
	リモコンの画面表示が暗い バックライトが点灯しない	●画面表示部のバックライトが常時消灯の設定になっていませんか？ 表示節電設定を常時点灯などに変更してください。(P.29)
	バックライトが すぐに点灯しない	●待機電力の節電のため、点灯に約1秒ほどかかります。お待ちください。
	リモコンが勝手に点灯する	●浴室リモコンのバックライトが消灯していても、自動配管洗浄中は点灯して案内表示が出ます。
	リモコンの画面表示が 見にくい(残像が映る、 全体が黒く見えるなど)	●液晶の特性上、寒い時期は表示が濃く見えることがあります。 台所リモコン、浴室リモコンは、それぞれ画面表示部のコントラスト(濃淡)を調整できます。(P.30)
	リモコンが勝手に消灯する	●表示節電設定をしていると設定時間後、節電のためバックライトが消灯します。
	浴室リモコンが 操作できなくなった	●誤操作防止のロックがかかっている場合があります。 →ロックを解除してください。(P.18)
	リモコンに何も表示されない	●落雷などでリモコンが一時的に(約10秒間)消灯することがあります。
	人がいないのに浴室リモ コンのバックライトが 勝手に点灯する	●浴室の扉を開けたままにしておくと、人が通るたびに、ひとセンサーが検知して、バックライトが点灯することがあります。(P.19) ●ひとセンサーの感度は調整できます。(P.30)
	入浴中なのに、 浴室リモコンの バックライト表示が消えた	●リモコンの取付位置が高い場合や、約5分間浴室内で人が動かないでじっとしている場合など、ひとセンサーが人がいないと判断して、バックライトが消えることがあります。(P.19)
	浴室に入っても、エコナビ ランプが点灯しない	●エコナビ設定が「入」になっていませんか？(P.35) ●ふろ保温中以外は点灯しません。
	浴室に人がいないのに 台所リモコンの 「入室中」が点灯する	●入室サイン表示(入室中)は、浴室リモコンのひとセンサーが浴室に人がいないと検知した後もしばらくの間、表示を続けます。表示する時間は変更できます。(P.35 退室判定時間設定) ●浴室の扉を開けたままにしておくと、人が通るたびにひとセンサーが検知して、入室サイン表示(入室中)が点灯することがあります。(P.19)
	浴室に人がいるのに 台所リモコンの 「入室中」が消灯している	●リモコンの取付位置が高い場合や浴室内にいる人が約5分以上動かずにじっとしている場合などに、浴室リモコンのひとセンサーが人がいないと判断すると、入室サイン表示(入室中)は消灯することがあります。(P.19)
残湯量表示	昼間の沸き上げ時間帯を 設定しているのに、朝まで に残湯量表示が増えている	●朝、昼間の沸き上げ時間帯までに必要な湯量を確保します。 ●毎日の使用湯量が多い場合、昼間の沸き上げ時間帯の沸き上げだけではお湯が足りないため、夕方や夜間に沸き上げを行う場合があります。
	昼間の沸き上げ時間帯な のに残湯量表示が増えて いない	●毎日の使用湯量が少ない場合や前日の残湯量が多かったときは、昼間の沸き上げ時間帯であっても、沸かさない場合があります。

こんなとき		ここをご確認ください
残湯量表示	朝になってもタンクのお湯がいっぱいにならない (残湯量表示がすべて点灯しない)	● 昼間の沸き上げ時間帯にその日に使うお湯の半分以上を沸き上げ、朝は必要な湯量を確保します。(P.2) ● 朝一番にお湯はり等お湯をたくさん使う場合は、早め(前日)に手動で「沸き増し」してください。「■お湯の使用量の目安」に合わせて設定すると、その湯量を沸き増しします。(P.2、24)
	お湯がタンクいっぱいなのに沸き上げをする	● 毎日の使用湯量が多いご家庭の場合は、次に使う分のお湯を確保するため、すぐに沸き上げをする場合があります。 ● 追いだきに使うお湯が多いと沸き上げをする場合があります。(P.20)
	お湯が残っているのに、沸き上げをする	● ふろ自動運転中は、保温のため沸き上げ運転をする場合があります。 ● おふろにお湯はりすることを予測して、昼間の沸き上げ時間帯のあと午後5時からお湯を沸かすことがあります。 → その日、お湯を使う予定がない場合は、「昼停止」で、その日の沸き上げを止めることができます。(P.31) ● ヒートポンプ給湯機の凍結を予防するために、沸かすことがあります。
	お湯を使っていないのに残湯量表示が減る	● ふろ保温や追いだきをしていませんか？ タンクのお湯を使って温めるため、表示は減ります。(P.20) ● お湯を使わなくても、タンクの放熱により湯温が下がり残湯量表示が減ることがあります。 ● 自動配管洗浄では約10Lのお湯を使用します。
	追いだき中、残湯量表示がすぐに減る	● 沸き上げモードを「おまかせ」に設定してください。(P.25) 「おまかせ節約」設定時、タンク内の湯温が低い場合など追いだきをする、すぐに残湯量表示が減ることがあります。
	残湯量表示の減りかたが早い／遅い	● 給水温度により使えるお湯の量は変化します。冬場、給水温度が低い場合は残湯量表示の減りかたは早く、夏場、給水温度が高い場合は、遅くなります。 ● タンクに残ったお湯は、お湯の温度が低くても、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げを行いません。前日のお湯の使用量が少なく、タンクにお湯が残った場合などは、タンクのお湯の温度が低いために、42℃換算での当日の残湯量表示の減りかたが、早くなります。
給湯ガイド(お湯使用量)	使用可能湯量が前日より減った／増えた	● 使えるお湯の量は、使用した湯量を学習しながら変化します。 ● タンクに残ったお湯は、お湯の温度が低くても、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げを行いません。前日のお湯の使用量が少なく、タンクにお湯が残った場合などは、タンクのお湯の温度が低いために、42℃換算での当日の使用可能湯量は少なくなります。
	使用可能湯量があるのにふろ自動運転や追いだきができない	● 使用可能湯量は42℃に換算した湯量を表示しています。 タンクに使えるお湯が十分あっても、タンクの湯温が低いときは、ふろ自動運転や追いだきが待機することがあります。
	使用可能湯量があるのに熱いお湯が出ない 高温たし湯で熱いお湯が出ない	● 使用可能湯量は42℃に換算した湯量を表示しています。 タンクに使えるお湯が十分あっても、タンクの湯温が低いときは、高温のお湯が出ません。
	表示される使用湯量と湯はり量が一致しない	● お湯はりの温度は設定した温度より少し高めになっています。 そのため、42℃でお湯はりを行っても、表示される使用湯量は実際の湯はり量よりも多くなることがあります。

故障かな？ (つづき)

こんなとき		ここをご確認ください
給湯ガイド (お湯使用量)	お湯を使っていないのに使用湯量が勝手に増えた使用パターンで、お湯を使っていない時間帯にグラフ表示されている	● 自動配管洗浄や凍結予防運転などでも、タンクのお湯を使うため使用湯量に含まれます。また使用パターンにも表示されます。(P.36)
	使用湯量の数値が給湯量メーターで表示される数値と一致しない	● 使用湯量には、お風呂の追いだきや保温で使った湯量を含みますが、給湯量メーターには含まれません。そのため表示される数値が異なります。(P.15、36)
	エコナビ節約回数の累計が合わない	● 停電などが発生すると表示が途絶え、10未満の数がなくなることがあります。
通話・浴室モニター	雑音が混ざる、一瞬途切れる、声が聞こえない	● 機器の設置状況や使用環境(換気扇やシャワー)などによって起こることがあります。 [話す側]の音が聞こえない場合は、[聞く側]のマイク感度を「低い」に設定するか、周囲の音を小さくしてください。(P.29) ● リモコンから20 cm以内に物を置くと、通話が途切れることがあります。 ● 浴室リモコンのマイクの穴に水滴が浸入するとうまく通話できなくなりますが、水滴がなくなると改善します。浴室リモコンに湯や水をかけないでください。(P.15)
	「キーン」という大きい音がする	● 通話音量、モニター音量を下げてください。(P.22、23) または、マイク感度を「低い」に設定してください。(P.29) 台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合などに生じることがあります。
	通話中、ラジオ放送が聞こえる	● ラジオの送信所が近くにある場合、ラジオ放送が聞こえることがあります。
	音声案内をしない	● 通話中は音声案内を行いません。 ● 音声案内を「切」にしていますか？(P.28)
音声	音声が小さくなった	● 案内音量の設定を高くしてください。 ● スピーカー部(P.13)に水がたまると音声小さくなる場合があります。水をふき取ってください。(浴室リモコン)
	「ブツ」と音がする	● 本体とリモコンが通信しているときに、音がすることがあります。 ● 無線LAN接続中の通信状況によって音がすることがあります。
	お湯がなくなった、なくなりそう	● 沸き増しスイッチを押してください。(P.24) ● 朝一番にお湯はり等お湯をたくさん使う場合は、早め(前日)に手動で「沸き増し」してください。「■お湯の使用量の目安」に合わせて設定すると、その湯量を沸き増しします。(P.2、24)
沸き上げ・沸き増し・ピークセーブ・ピークシフト	沸き増し湯量の設定を変更しても増えない(減らない)	● 必要な沸き増し湯量を選び決定スイッチを押してください。(P.24)
	お湯の使用量が少ないのに湯切れする	● ふだんお湯の使用量が少なく、数日おきにお湯はりするご家庭では、お湯はりする日に湯切れする場合があります。 → 沸き上げモードを「おまかせ」に変更してください。(P.25) → 早めに「沸き増し」してください。(P.24)
	設定した湯量まで沸き増しせず自動解除する沸き増ししてもタンクいっぱいまで沸かない	● ほとんどお湯を使わずに、浴そうに残り湯がある状態で追いだきやふる自動などを行った場合、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げできない場合があります。そのため、残湯量表示が全点灯にならないことや、設定した湯量まで沸き増しせず自動解除することがあります。(P.24) ● 使用可能湯量の表示は、目安であり、設定した湯量分増えないことがあります。

こんなとき		ここをご確認ください
沸き上げ・沸き増し・ピークセーブ・ピークシフト	お湯が足りない (「おまかせ節約」のとき)	●沸き上げモードを「おまかせ」にしてください。(P.25)
	お湯が足りない (ピークセーブ設定のとき)	●消費電力を控えて沸き上げるため、たくさんお湯を使うと、足りなくなる場合があります。 →早めに「沸き増し」にしてください。(P.24) →ピークセーブ設定を「切」にしてください。(P.33)
	お湯があまる (「おまかせ」のとき)	●沸き上げモードを「おまかせ節約」にしてください。(P.25)
	ピークカットや「昼停止」を設定中なのに、 昼間に沸き上げる 沸き上げ休止中なのに沸き上げる	●昼間の沸き上げ時間帯の設定を優先して、沸き上げを行います。(P.26) ●ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため、外気温が低い場合に沸き上げをすることがあります。(P.47) ●専用アプリ「スマホでおふろ」のエマージェンシー沸き上げをON にすると、設定した気象警報、注意報と連動して沸き上げを行います。
	昼のみ沸き上げ設定をしているのに、 昼間の沸き上げ時間帯以外に沸き上げる	●ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため、外気温が低い場合に沸き上げをすることがあります。(P.47) ●専用アプリ「スマホでおふろ」のエマージェンシー沸き上げをON にすると、設定した気象警報、注意報と連動して沸き上げを行います。
	夜間に沸き上げしている	●翌朝に必要な湯量を確保するため、夜間に沸き上げを行います。 ●毎日の使用湯量が多い場合、昼間の沸き上げ時間帯の沸き上げだけではお湯が足りなくなるため、夜間に沸き上げを行います。
	昼間の沸き上げ時間帯の終了時刻よりも 早く沸き上げが終わる	●毎日の使用湯量が少ない場合や前日の残湯量が多かったときは、昼間の沸き上げ時間帯であっても、沸かさない場合があります。 ●冬場など外気温が低い場合は沸き上げ終了時刻が前後することがあります。
	停電復旧後や修理後、 沸き上げ湯量が変わった	●沸き上げモードの設定が変更になっていないか確認してください。 ●沸き上げの学習は15日間以上電源を切っていたとき、修理時などは初期化されます。7日間で再度学習しますので、そのままお使いください。
配管洗浄	自動配管洗浄しない (浴室リモコン画面に「配管洗浄完了」表示なし)	●自動配管洗浄設定が「切」になっていませんか？(P.34) ●混合水栓からお湯はりをを行ったときは、自動配管洗浄しません。(P.38) ●停電復旧後は、自動配管洗浄しません。(P.38) ●ふろ自動運転中は、自動たし湯設定が「切」の場合、入浴中に浴そうのお湯を使い浴そうの循環口付近までお湯が減ると、排水しても自動配管洗浄が動作しない場合があります。(P.38) ●ふろ自動運転中に浴そうのお湯を排水すると自動配管洗浄しない場合があります。(P.38) ●ふろ凍結予防運転中に浴そうのお湯を排水すると自動配管洗浄しない場合があります。
	自動配管洗浄しない (浴室リモコン画面に「配管洗浄完了」表示あり)	●残り湯を洗濯などに使用して、浴そうの循環口付近までお湯が減っていると、すでに自動配管洗浄している場合があります。(P.38) 一度動作すると、その後は排水しても自動配管洗浄を行いません。
	ふろ自動「切」なのに 勝手にお湯が足される	●浴そうの循環口付近までお湯が減ると、自動配管洗浄のため、お湯が出てきます。(P.38)(浴室リモコン画面に「配管洗浄完了」を表示します)
本体・運転音など	貯湯ユニットの排水口・ 排水配管から水が漏れる	●沸き上げ中(リモコンの「沸上中」点灯時): タンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して水が出ます。故障ではありません。 ●沸き上げ中以外(リモコンの「沸上中」消灯時): →逃し弁レバーを数回上下に動かした後、逃し弁レバーを下げ水が止まることを、確認してください。 →上記操作後も、水が止まらない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ・漏れたままにしておくと、湯温の低下、湯量不足により水道代、電気代が高くなる場合があります。

故障かな？ (つづき)

こんなとき		ここをご確認ください
本体・運転音など	貯湯ユニットから音がする	●お湯はり中や沸き上げ運転中、配管洗浄中など、ポンプ作動時には音がします。 ●お湯はり開始後、浴そう内に水がない状態で何度かポンプが作動します。そのとき、大きめのポンプ音がしますが異常ではありません。 ●お湯はり完了後は自動で保温を行うためポンプ音がします。
	ヒートポンプユニットから水や蒸気が出る	●お湯はりや沸き上げ運転以外のときにも動作確認のモーター音がすることがあります。
	ヒートポンプユニット底面から水が漏れている	●凍結予防運転で、お湯を循環させるためにポンプが自動的に作動します。→循環口から10 cm以上、浴そうに水をはってください。(P.46) ・凍結予防運転を「しない」に設定していても作動することがあります。
	ヒートポンプユニット背面が霜で白くなる	●冬場は運転中に霜がつくことがあります。
	ヒートポンプユニットからの音が大きくなった	●沸き上げ運転中や凍結予防運転中、音がします。 ●冬場など、外気温が低くなると運転音が大きくなる場合があります。 ●霜を取るために運転音がします。(運転、停止を繰り返します)
	冬場などに、ヒートポンプユニットからパキッパキッと音がする	●沸き上げ運転の開始直後は、背面のアルミ部分の温度が急激に下がり、発生した氷がはじけるような音がすることがありますが、故障ではありません。
	浴そうなどが青くなる	●給湯水に含まれている銅イオンによるものです。人体に害はありません。(P.10)
	お湯が白く濁っている	●水中に溶け込んでいる空気が細かい泡となっているためです。異常ではありません。
	お湯から油が出る、お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じることがありますが、しばらくすると消えます。
	お湯や水を止めたとき、衝撃音(「ゴン、コン」という音)がする	●水圧が高い地域で発生します。→水撃防止装置を取り付けるか、水撃低減機構付シングルレバーの混合水栓を使用するなどに対応することができます。お買い上げの販売店にご依頼ください。
	水栓などを交換するときは…	●給水元栓を閉じて、貯湯ユニット内のお湯が出る場合があります。水栓やパッキンなどを交換する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	浴そうの循環口から汚れが出てくる	●給湯機の使い始めや一定期間使わなかった後にお湯はりと、ふろ配管に付着した汚れが循環口から出てくる場合があります。また、長く使ってタンクや部品の接水部が汚れてくると、循環口からその汚れが出てくる場合もありますが、いずれも異常ではありません。(P.39)

浴そうの水位(湯はり量)を再調整する

ふろ試運転をする

浴室リモコン で操作する

浴そうに合わせて湯はり量を調整します。

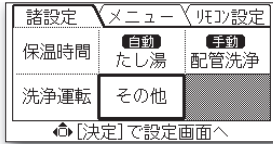
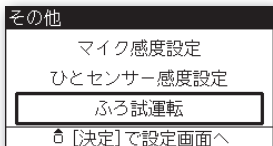
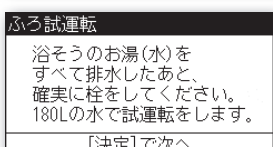
1 メニュー/戻る を押す

諸設定 の「その他」を
選び 決定 を押す

2 ▲▼で「ふろ試運転」を
選び 決定 を押す

3 浴そうのお湯(水)を
すべて排水した後、
確実に栓をする

決定 を押す

●約 180 Lの水で、試運転を行います。

お願い

- ふろ試運転によって水量と浴そうの水位の上がりかたを学習し、浴そうに合ったお湯はりを可能にします。
 - ・試運転中にリモコンや浴そうをさわると、設定したふろ湯量でのお湯はりができなくなります。
 - ・リフォームなどで貯湯ユニットを移設したときや、浴そうや循環口を入れ替えたときは、必ずふろ試運転を行ってください。
- 浴そうの自動排水栓をお使いの場合でも、ふろ試運転では自動開閉しません。浴そうの栓を確実に閉めてから、ふろ試運転を行ってください。
 - ・ふろ試運転を完了するまで、自動排水などの操作は行わないでください。浴そうの水位を正しく調整できなくなります。

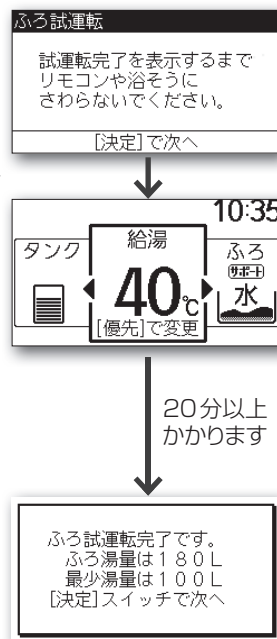
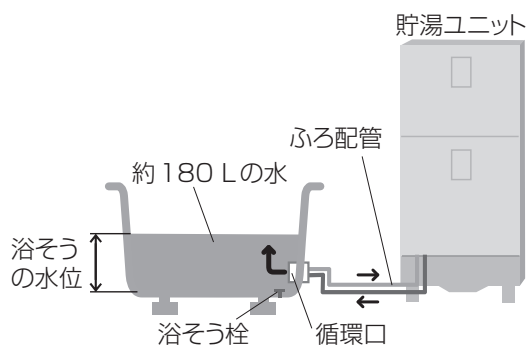
4 決定 を押す

- 「ふろ試運転完了です。」の表示(下記)が出るまでリモコンや浴そうをさわらないよう注意してください。浴そうの水位を正しく調整できなくなります。
- 試運転にかかる時間は、浴そうやふろ配管の設置条件によって長くなることがあります。

右の画面が表示されたら

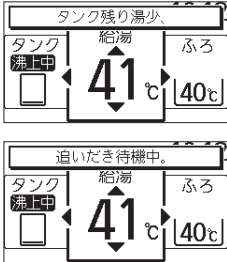
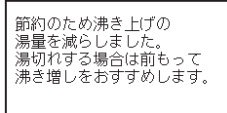
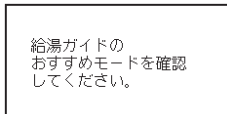
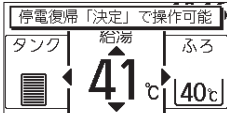
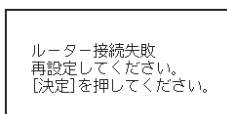
決定 を押す

ふろ試運転完了です。
浴そうの水をすべて排水してください。

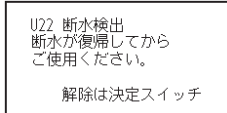
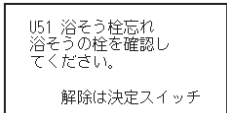
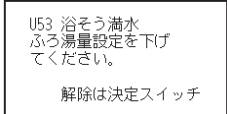
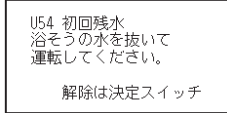



故障かな? / 浴そうの水位(湯はり量)を再調整する

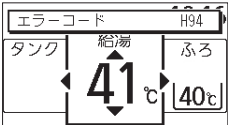
リモコンにこんな表示が出たら…

こんな表示は	ここをご確認ください
	● 追いだき運転でお湯不足になると、残湯量表示が急に減ることがあります。追いだき運転がいったん停止し、沸き上げ運転をすることがあります。(P.20、51) ↓ - 何度も表示が出るときは、沸き上げモードを「おまかせ」にしてください。(P.25) - 手動で沸かすときは、「沸き増し」してください。(P.24) ↓ - 浴そうのお湯が冷めている場合は、追いだきに時間がかかることがあります。冷めたお湯を排水した後、お湯はり(ふろ自動運転)し直すことをおすすめします。
	● おまかせ節約でタンクいっぱいまで沸き上げなかったことをお知らせします。夏場など、お湯の使用量が少ないときは節約のため全量沸かさないことがあります。
	● 季節の変わり目などでお湯の使用量が変わったときに表示することがあります。 ・ 給湯ガイドの「おすすめモード」を確認し、表示された沸き上げモード「おまかせ節約」または「おまかせ」に変更することをおすすめします。(P.25、36)
	● 30分以上の停電が発生したことをお知らせしています。 → 決定 で元の表示に戻ります。
	● 初めて接続する無線LANルーターとの通信ができていません。 ・ スマホでお風呂スタートガイドの「初期接続する」や「アプリに関するQ&A」の＜初期接続＞などを参照し、再度無線LANルーターとの接続を行ってください。
	無線LAN表示が点滅 ● 初めて無線LANに接続する初期接続が完了していないか、通信が途切れたり安定していないことを示しています。 ・ スマホでお風呂スタートガイド表紙のもくじから、該当ページを参照してください。

■ 次の表示は、「決定」を押して表示を消した後、対処してください

こんな表示は	ここをご確認ください
	● 給水元栓が閉じている場合は、開けてください。 ● 給水配管やふろ配管が凍結したときに表示されることがあります。 ● お湯はり中に断水した ① 断水が復旧したことを確認する。 ② 「ふろ自動」を押し、ふろ自動運転する。
	● 浴そう栓を忘れている ① 浴そうの栓をする。 ② 「ふろ自動」を押し、ふろ自動運転する。 ● 浴そうの排水口に小さなごみや毛髪がたまっている場合は取り除いてください。 ● 浴そうの自動排水栓をお使いの場合は、別売品「インターフェースユニット」(品番：CF-VC1)の取扱説明書をご確認ください。
	● お湯があふれている ● ふろの設定湯量を下げる。(P.17) 続けて保温やたし湯を自動で行いたいときは、「ふろ自動」を押してください。
	● 浴そうの基準水位が設定されていない ① 浴そうを空にして、栓をする。 ② 「ふろ自動」を押し、ふろ自動運転する。

■ 次の表示は、対処後、漏電しゃ断器を「切」にし、約 1 分後「入」にして異常表示を消してください

こんな表示は	ここをご確認ください
	● ヒートポンプユニットの空気抜き運転が不十分 → ヒートポンプユニットの空気抜きをする。(P.44) ● 給水元栓が閉じている→給水元栓を開ける。 ● 給水配管が凍結している→お買い上げの販売店へ、凍結予防工事を依頼する。 H94

■ それでも直らないときや次の場合は、以下の対処後、お買い上げの販売店へご連絡ください

- 上記以外の異常表示(H□□かF□□)が出た
→給水元栓を閉じて、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてください。
- 凍結のおそれがある時期に異常表示が出た
→配管が凍結して故障が拡大する場合があるため、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器および配管の凍結予防ヒーターは「切」にせず、すぐご連絡ください。
- 異常表示「H11：無線LAN接続通信異常」が出ている場合は、無線LAN通信による機能は使用できませんが、ヒートポンプ給湯機は修理するまで一時的に使用できます。この期間に限り、給水元栓を開け、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「入」にして、すぐご連絡ください。

次の場合は、以下の対処を行った後、お買い上げの販売店へご連絡ください

- 貯湯ユニットの排水口・排水配管以外の場所から水が漏れる
- 浴そうへのお湯はりが止まらない
→給水元栓を閉じて、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてください。

次のような場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください

- ヒートポンプ給湯機を移設したとき
- 浴そうを交換したとき

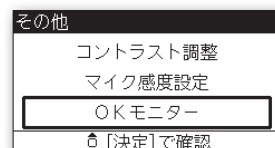
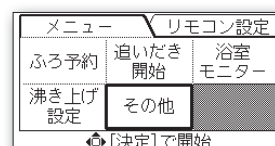
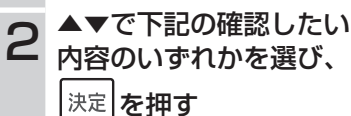
そのまま使用すると、正常に運転できないことがあります。

OK モニター／サービス店 TEL 表示

異常の内容や連絡先を確認する

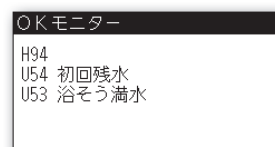
台所リモコン で操作する

異常表示やサービス店の電話番号を確認し、お買い上げの販売店へご連絡ください。



OK モニター： 異常表示を再度確認する

- 異常表示は、順次繰り下げて新しいものを最も上に表示します。
(故障なく連続通電のまま異常なしで2週間経過すると、表示は自動的に削除されます)
- 1分後に自動終了します。



サービス店 TEL 表示： サービス店の電話番号を確認する

- 試運転時に登録されていると、表示されます。
- 1分後に自動終了します。



終了するとき

決定 を押す

お知らせ

次の表示は、ヒートポンプ給湯機が給湯専用設定になっていることを示しています。



- 浴室のリフォーム待ちの間など、機能の一部を制限しているときに「給湯専用」が表示されます。
・ふろ自動や通話、メニューの項目で受け付けられないものがあります。
・リフォームが終了したときは、販売店(工事店)に給湯専用設定の解除を依頼してください。

リモコンにこんな表示が出たら...

仕様

この仕様値は、JIS C 9220：2018（日本産業規格）に基づいた数値です。

			昼間沸上げ形家庭用ヒートポンプ給湯機			
			一般地向け			
			ウルトラ高圧力型		高圧力型	
システム品番			HE-YU37LQV	HE-YU46LQV	HE-Y37LQV	HE-Y46LQV
貯湯ユニット品番			HE-YU37LQ	HE-YU46LQ	HE-Y37LQ	HE-Y46LQ
ヒートポンプユニット品番			HE-PY45L	HE-PY60L	HE-PY45L	HE-PY60L
適用電力制度			従量電灯			
設置場所(貯湯ユニット)			屋外用			
使用電源			単相 200 V (50 / 60 Hz 両用)			
最大電流			16 A			
冬期給湯保温モード試験時沸き上げ温度			℃			
着霜期給湯保温モード試験時沸き上げ温度			℃			
年間給湯保温効率(JIS)* ¹			3.5			
区分名			E			
夜間消費電力量比率* ¹			%			
貯湯			L			
タンク容量			370			
水側最高使用圧力(減圧弁設定値)			kPa			
ヒートポンプユニット			370 (325)			
中間期標準加熱能力/消費電力* ³			kW			
冬期高温加熱能力/消費電力* ⁴			kW			
運転音(音響パワーレベル) 中間期* ³ /冬期* ⁴			dB			
設計圧力 高圧/低圧			MPa			
冷媒の種類/充填量			g			
設置可能最低外気温度			℃			
外形寸法			mm			
貯湯ユニット：高さ×幅×奥行			1810×600×680			
ヒートポンプユニット：高さ×幅×奥行			672×799 (867)×299 ()はカバーを含む			
質量			kg			
貯湯ユニット			70			
貯湯ユニット満水時			440			
ヒートポンプユニット			41			
付属品			取扱説明書・ご使用ガイド・スマホでおふろ スタートガイド・工事説明書・保証書			
別売品			ドレンエルボ			
コミュニケーションリモコン			HE-YQWLW (台所リモコン：HE-YQWLM 浴室リモコン：HE-YQWLS)			
増設リモコン* ⁸			HE-YQVLZ			
インターフェースユニット* ⁸			CF-VC1			

■ 次の値は、改正前の JIS C 9220：2011（日本産業規格）に基づきます。

年間給湯保温効率(JIS)* ¹	3.5
区分名	17

■ 次の値は、JRA 4085：2022（昼間沸上げ形家庭用ヒートポンプ給湯機）に基づきます。

冬期高温沸き上げ温度	℃	90
昼間沸上げ形年間給湯保温効率(JRA)		3.5
昼間消費電力量比率	%	80

■ 以下の仕様は、すべての品番に共通です。

沸き上げ温度範囲* ⁶	℃	約 65～約 90
給湯温度	℃	水、32、35、38～47 (1℃ 刻み)、50、55、60
ふろ温度設定	℃	水、36～48 (1℃ 刻み)
ふろ湯量設定	L	100* ⁷ ～500 (20 L 刻み)
自動保温	ポンプ循環方式	
自動たし湯	水位センサー検知方式(約 3.5 cm 以上の水位低下により自動たし湯)	

※ 1. 年間給湯保温効率(JIS)は、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、1年間を通してある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転したときの単位消費電力量あたりの給湯熱量およびふろ保温熱量を表したものです。なお、値は省エネモードである「おまかせ節約」で測定した値であり、実際には、地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。（沸き上げモード「おまかせ」に設定した場合やふろの沸かし直しをすると、効率が低下し消費電力量が増える場合があります）

* 一定の条件とは、東京・大阪を平均とした気象条件・給水温度で 40℃のお湯を 456 L 使用しふろの保温時間を 3 時間(保温熱量 4.12 MJ) 行う条件を想定したものです。

年間給湯保温効率(JIS) = 1 年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量 ÷ 1 年間で必要な消費電力量

* 年間給湯保温効率算出時の条件

着霜期高温条件：外気温(乾球温度/湿球温度) 2℃/1℃、水温 5℃、沸き上げ温度 90℃

寒冷地冬期高温条件：外気温(乾球温度/湿球温度) -7℃/-8℃、水温 5℃、沸き上げ温度 85℃

給湯保温モード条件(冬期)：外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温 9℃

給湯保温モード条件(着霜期)：外気温(乾球温度/湿球温度) 2℃/1℃、水温 5℃

* 夜間消費電力量比率：一定条件のもとにヒートポンプ給湯機を 1 日運転したときの総消費電力量に対する夜間消費電力量の比率

			昼間沸上げ形家庭用ヒートポンプ給湯機				
			寒冷地向け				
			高圧力型				
システム品番			HE-YL37LQV	HE-YL37LQMV	HE-YL46LQV	HE-YL46LQMV	
貯湯ユニット品番			HE-YL37LQ	HE-YL37LQM	HE-YL46LQ	HE-YL46LQM	
ヒートポンプユニット品番			HE-PYL45L	HE-PYL45L	HE-PYL60L	HE-PYL60L	
適用電力制度			従量電灯				
設置場所(貯湯ユニット)			屋外用	屋内用	屋外用	屋内用	
使用電源			単相 200 V(50／60 Hz両用)				
最大電流			19 A				
冬期給湯保温モード試験時沸き上げ温度			℃65				
着霜期給湯保温モード試験時沸き上げ温度			℃65				
年間給湯保温効率(JIS)* ¹			3.4				
寒冷地年間給湯保温効率(JIS)* ²			3.0				
区分名			F				
夜間消費電力量比率* ¹			%				5
貯湯 ユニット	タンク容量	L	370		460		
	水側最高使用圧力(減圧弁設定値)	kPa	220(180)				
	凍結予防ヒーター	W	110(11 W×10個)				
ヒート ポンプ ユニット	中間期標準加熱能力／消費電力* ³	kW	4.5／0.960		6.0／1.33		
	冬期高温加熱能力／消費電力* ⁴	kW	4.5／1.50		6.0／2.00		
	寒冷地冬期高温加熱能力	kW	4.5		5.4		
	運転音(音響)(ワールレベル) 中間期* ³ ／冬期* ⁴	dB	50／55		54／57		
	設計圧力 高圧／低圧	MPa	14.0／9.0 (ゲージ圧)				
	冷媒の種類／充填量	g	R744／680				
	設置可能最低外気温度	℃	－25				
外形 寸法	貯湯ユニット：高さ×幅×奥行	mm	1810×600×680		2170×600×680		
	ヒートポンプユニット：高さ×幅×奥行		672×799(867)×299 ()はカバーを含む				
質量	貯湯ユニット	kg	61	62	68	69	
	貯湯ユニット満水時		431	432	528	529	
	ヒートポンプユニット		41	41	41	41	
付属品	貯湯ユニット	取扱説明書・ご使用ガイド・スマホでおふる スタートガイド・工事説明書・保証書					
	ヒートポンプユニット	――					
別売品	コミュニケーションリモコン	HE-YQWLW(台所リモコン：HE-YQWLM 浴室リモコン：HE-YQWLS)					
	増設リモコン* ⁸	HE-YQVLZ					
	インターフェースユニット* ⁸	――					

■ 次の値は、改正前の JIS C 9220 : 2011 (日本産業規格) に基づきます。

年間給湯保温効率(JIS)※ ¹	3.4
寒冷地年間給湯保温効率(JIS)※ ²	3.0
区分名	21

■ 次の値は、JRA 4085 : 2022 (昼間沸上げ形家庭用ヒートポンプ給湯機) に基づきます。

冬期高温沸き上げ温度	℃	90
寒冷地冬期高温沸き上げ温度	℃	85
昼間沸上げ形年間給湯保温効率(JRA)		3.4
寒冷地昼間沸上げ形年間給湯保温効率(JRA)		3.0
昼間消費電力量比率	%	80

※ 2. 寒冷地年間給湯保温効率(JIS)は、次世代省エネルギー基準Ⅱ地域(盛岡)を想定し、年間給湯保温効率(JIS)を表したものです。

※ 3. 中間期: 外気温(乾球温度/ 湿球温度) 16 ℃ / 12 ℃、水温 17 ℃、沸き上げ温度 65 ℃

※ 4. 冬期高温: 外気温(乾球温度/ 湿球温度) 7 ℃ / 6 ℃、水温 9 ℃、沸き上げ温度 90 ℃

※ 5. 寒冷地向けの場合、ヒートポンプユニットは、- 20 ℃ ~ - 25 ℃ で最高 80 ℃ 沸き上げが可能です。タンク全量沸き上げできない場合があります。

※ 6. ヒートポンプユニットで沸き上げる温度です。タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。

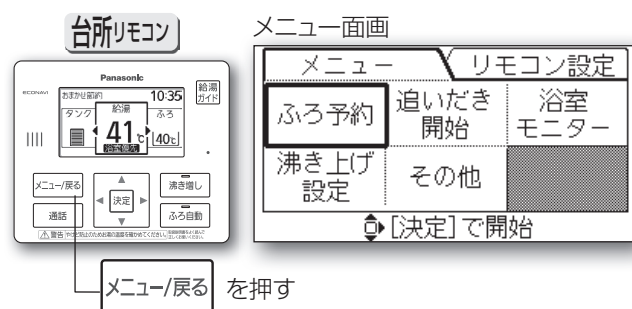
※ 7. 最少湯量は、浴そうの循環口の位置や、浴そうの大きさによって変化します。

※ 8. 増設リモコンとインターフェースユニットは、同時接続(設置)できません。

- ・ 運転使用範囲: 一般地向けの場合は、- 10 ℃ ~ 43 ℃ 寒冷地向けの場合は、- 20 ℃ ~ 43 ℃
- ・ 沸き上げ運転をしていないときでも電力を消費します。リモコン点灯時: 約 3 W リモコン消灯時: 約 2 W
また、外気温度が低いときは、凍結予防のため電力を消費します。

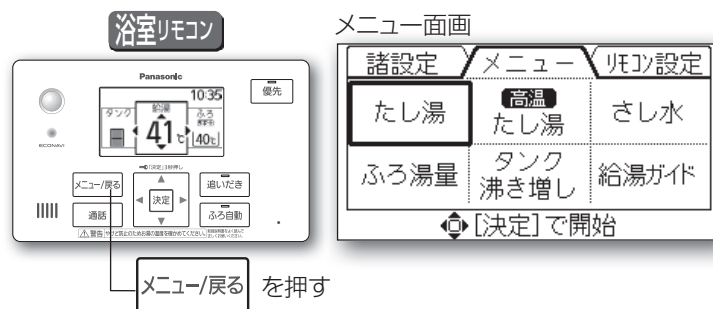
メニュー画面項目一覧表

メニュー画面の項目を一覧にしました。基本の操作方法は、P.12を参照してください。



★印の項目は、増設リモコンでもお使いいただけます。

台所リモコン		メニュー画面の項目	こんなときに使います	設定方法
メニュー	風呂予約★		お湯はり完了時刻を予約して、自動でお湯はりをしたいとき	P.19
	浴室モニター		台所から浴室の音を聞いて様子を確認したいとき	P.23
	沸き上げ設定	沸き上げモード	「おまかせ」に変更したいとき	P.25
		ダブルピークカット設定	電気使用量の多い時間帯に沸き上げを停止したいとき	P.32
		休止設定	長期間沸き上げを休止したいとき	P.42
		昼停止設定	当日昼間の沸き上げを停止したいとき	P.31
		ピークセーブ設定	電力消費のピークを下げて沸き上げをしたいとき	P.33
		ピークシフト設定	朝方の消費電力量を抑えるため、夜間時間帯になるとすぐに沸き上げる設定にしたいとき	P.33
	追いだし開始/中止		追いだきの開始/中止をしたいとき	P.20
	その他	入室サイン設定	台所リモコンで浴室内に人がいることを確認したいとき	P.35
		ネットワーク設定	無線LANによる通信接続をしたいとき	スマホでお風呂スタートガイド
		サービス店TEL表示★	サービス店の電話番号を確認したいとき	P.57
		コントラスト調整★	リモコン画面のコントラスト(表示濃淡)を調整したいとき	P.30
		マイク感度設定	通話中のマイクの感度を調整したいとき	P.29
		OKモニター★	異常表示を確認したいとき	P.57
		タンク水抜き準備設定	貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水抜きをしたいとき	P.42、43
		空気抜き★	タンクのお湯を抜いた後、初めての沸き上げ前に	P.44
		昼間の沸き上げ時間帯設定	太陽光発電の電力を利用して沸き上げる時間帯を変えたいとき	P.26
		定量沸き上げ設定	タンクに「全量」までお湯を沸き上げておきたいとき	P.31
インターフェースユニット接続状況確認		別売品「インターフェースユニット」(CF-VC1)の取扱説明書を参照してください	—	
リモコン設定	音声案内★		音声案内の設定を変えたいとき	P.28
	表示節電★		リモコン画面表示部のバックライトが消灯する設定を変えたいとき	P.29
	日時設定★		日時を合わせたいとき	P.28
	案内音量★		案内の音量を変えたいとき	P.28
	給湯量メーター★		給湯量メーターを表示させたくないとき	P.28



浴室リモコン		メニュー画面の項目	こんなときに使います	設定方法	
メニュー	たし湯		浴そうに設定温度のお湯を足したいとき	P.21	
	高温たし湯		浴そうに約 60 ℃のお湯を足したいとき	P.21	
	さし水		浴そうに水を足したいとき	P.21	
	ふろ湯量		ふろ自動運転のお湯はりの量を変更したいとき	P.17	
	タンク沸き増し		浴室リモコンを使って、手動でタンクのお湯を沸き増ししたいとき	P.24	
	給湯ガイド		便利な情報や、使いかたのアドバイスなどを表示したいとき	P.36、37	
リモコン設定	音声案内		音声案内の設定を変えたいとき	P.28	
	表示節電		リモコン画面表示部のバックライトが消灯する設定を変えたいとき	P.29	
	浴室モニター禁止		浴室の音を台所から聞かれないようにしたいとき	P.23	
	案内音量		案内の音量を変えたいとき	P.28	
	給湯量メーター		給湯量メーターを表示させたくないとき	P.28	
	保温時間		お湯はり完了後のおふろの保温時間を変えたいとき	P.18	
諸設定	手動配管洗浄		手動で配管を洗浄したいとき	P.34	
	自動たし湯		自動たし湯機能を切りたいとき	P.30	
	洗浄運転		洗浄剤によるふろ配管洗浄をしたいとき	P.40	
	その他	うっかりアシスト設定		うっかりアシストの設定を変更したいとき	P.17
		自動配管洗浄設定		浴そう排水後の自動配管洗浄機能を切りたいとき	P.34
		エコナビ設定		エコナビ保温機能を切りたいとき	P.35
		お湯はりサポート設定		お湯はりサポート機能を切りたいとき	P.34
		ふろ凍結予防設定		ふろ凍結予防運転が自動で働くのを止めたいとき	P.35
		コントラスト調整		リモコン画面のコントラスト(表示濃淡)を調整したいとき	P.30
		マイク感度設定		通話中のマイクの感度を調整したいとき	P.29
		ひとセンサー感度設定		浴室内に人がいることを検知するセンサーの感度を調整したいとき	P.30
		ふろ試運転		浴そうに合わせて湯はり量を調整したいとき	P.55

一定期間 浴そうにお湯はりしないとき

夏場など一定期間 浴そうにお湯はりしないご家庭では、給湯機の機能部品(通水路)に汚れなどが発生し、故障の原因になる場合があります。定期的にお手入れを行ってください。

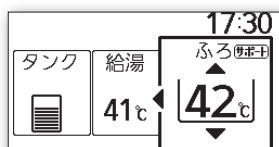
月に1回 お湯はりしと追いだきのためのお手入れ

① お湯はり水路の洗浄(水でお湯はり)

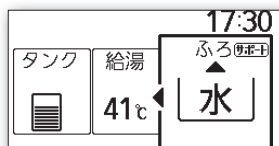
浴室リモコン で操作する

1 浴そうを空にして栓をする

2 ▶で「ふろ」を選ぶ

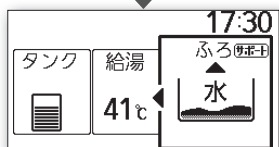


3 ▲で温度を「水」に設定する



4 〻自動 を押し、お湯はりを開始する

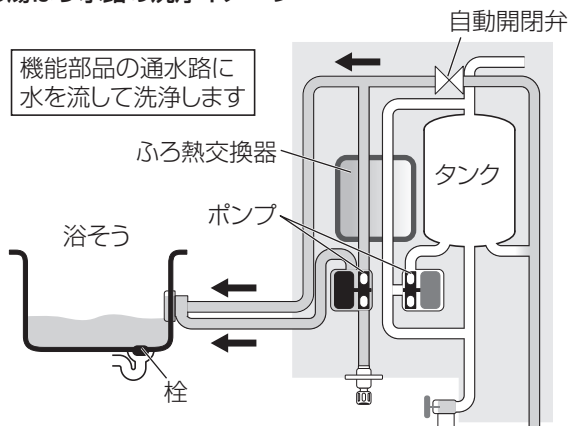
- ランプ(赤)が点灯します。
- お湯はり水路に水を流して、機能部品(通水路)を洗浄します。



お湯はり完了しメロディーが流れたら、もう一度 〻自動 を押す(ランプ消灯)



◆お湯はり水路の洗浄イメージ



② 追いだき点検(10秒間)

浴室リモコン で操作する

5 ▶で「ふろ」を選ぶ



6 ▲▼で好みの温度に設定する



7 追いだき を押す

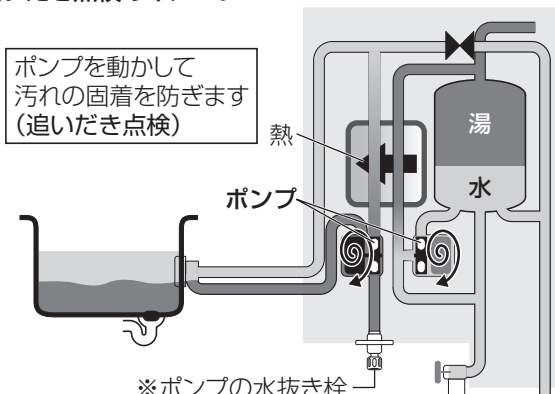
- ランプ(赤)が点灯します。
 - 10秒間、追いだき点検を行います。
 - 循環口からお湯が出てきます。
- ・この操作は、1分以内で完了してください。(タンクの残湯が減る場合があります)

追いだきをします。

もう一度 追いだき を押す(ランプ消灯)

リモコンに異常表示が出ていなければ、追いだき点検完了です。浴そうの水をすべて排水してください。

◆追いだき点検のイメージ



お願い

- 電源を切ったまま1か月(31日)以上ヒートポンプ給湯機を使わない場合は、『一定期間使わないとき』(P.42)の内容に従って確実に水抜きし、ポンプ内部に水を残さないでください。必ず、ポンプの水抜き栓*から水を抜いてください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電 話 () —
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな?」(P.48～54)、「リモコンにこんな表示が出たら…」(P.56～57)でご確認のあと、直らないときは漏電しゃ断器を「切」にして、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- | | |
|--------|--------------|
| ●製品名 | 家庭用ヒートポンプ給湯機 |
| ●品 番 | HE- |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間 : お買い上げ日から本体・リモコンは1年間。ただし、ヒートポンプユニット内の冷媒系統は3年間、貯湯ユニット内のタンクは5年間(水漏れ現象に適用)です。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- | | |
|-----|------------------|
| 技術料 | 診断・修理・調整・点検などの費用 |
| 部品代 | 部品および補助材料代 |
| 出張料 | 技術者を派遣する費用 |

※補修用性能部品の保有期間 **10年**

当社は、この家庭用ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後10年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口

使いかた・お手入れ・修理などはまず、お買い上げの販売店へご相談ください。
転居や贈答品などで困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support/>



給湯・電化 使い方・お手入れなどのご相談窓口

受付時間 9:00～18:00 月曜日～土曜日（祝日・正月三が日を除く）

個人のお客様

**0120-878-695**
■上記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6780-2554**

法人のお客様

**0120-187-910**
■上記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6904-4583**

■FAX フリーダイヤル ☎ **0120-872-460**

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります）
- ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。



修理に関するご相談窓口

家電専門店・量販店でご購入されたお客様へ

**0120-878-554**

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **03-6633-6700**



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

住宅会社・工務店・工事店でご購入されたお客様へ

**0120-087-704**



<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

特典

- お持ちの家電商品、消耗品情報が一元管理できる！
- 登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる！
- 登録者限定のキャンペーンに参加できる！

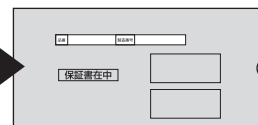
詳しくはこちら

<https://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書用封筒に記載されているQRコードを読み取っていただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録していただけます

QRコード



・QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

愛情点検

長年ご使用の家庭用ヒートポンプ給湯機の点検を！



こんな症状はありませんか

- 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
- 使用中にこげ臭いにおいがしたり異常な音や振動がする。
- 熱いお湯が出続ける。
- 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。
- 貯湯ユニット、配管から水が漏れる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社 水ソリューションズビジネスユニット

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2025

ACXF55-42170
S0425F0